事業報告１（定款第４条）関係資料

（委託事業および補助事業関係資料を含む）

理事会報告

理事会開催状況

回	日時・会場・出席者数	主な協議事項
1	令和4年 5月21日(土) 9:00～12:20 滋賀県看護研修センター 出席理事・監事数 理事　19名 監事　3名	Ⅰ　決議事項 1.令和3年度事業結果(報告)について 2.令和3年度決算(案)について 3.令和3年度決算審査結果について(監査報告を含む) 4.重要な職員の選任および解任について 5.職能委員会委員・常任委員会委員・地区支部役員の選任について 6.職能委員会審議事項および常任委員会諮問事項について Ⅱ　協議事項 1.通常総会開催に向けて 2.県などへの予算要望について Ⅲ　報告事項 1.業務執行理事報告　(日本看護協会理事会報告を含む)
2	令和4年 6月18日(土) 16:35～17:30 滋賀県看護研修センター 出席理事・監事数 理事　19名 監事　3名	Ⅰ　決議事項 1.役員選定 について 2.業務執行理事の業務分担(案)について Ⅱ　報告事項 1.令和4度理事会等地区支部長(地区理事)連携会議の年間予定について 2.令和4年度各職能委員会の審議事項及び常任委員会の諮問事項と委員について 3.令和5年度予算・政策に関する要望書について 4.業務執行理事報告(日本看護協会総会) 5.公益法人のガバナンスについて Ⅲ　連絡事項 1.理事・役員専用ページについて 2.理事・監事就任(新任・重任・留任)に伴う諸手続きについて 3.地区支部、会員管理と会計に関するおねがい
3	令和4年 9月17日(土) 9:00～12:00 滋賀県看護研修センター 出席理事・監事数 理事　17名 監事　3名	Ⅰ　決議事項 1.職能委員の変更について 2.公益社団法人滋賀県看護協会　就業規則の改正について 1)　育児・介護休業等に関する規程の全部改正 3.公益社団法人滋賀県看護協会　職員給与規程等の改正について 1)　看護協会本部 2)　在宅ケアセンターみのり 3)　職員給与に関する細則 Ⅱ　協議事項 1.「かいつぶりのわ」5号の発行について 2.法人化70周年記念事業について Ⅲ　報告事項 1.重点事業の中間報告(進捗)について 2.地区支部活動中間報告について 3.滋賀県知事等への要望について 4.業務執行理事活動報告について Ⅳ　その他 1.地区支部・職能委員長会等の協会ZOOMの活用について

	日時・会場・出席者数	主な協議事項
4	令和4年 11月19日（土） 9:00～12:00 滋賀県看護研修センター 出席理事・監事数 理事　18名 監事　3名	Ⅰ　協議事項 1.法人化70周年記念事業について 2.令和5年度重点事業の方向性について 3.看護の将来ビジョンについて Ⅱ　報告事項 1.令和4年度重点事業及び定款第4条に基づく事業中間報告 2.令和4年度中間財務報告 3.令和4年度中間監査報告 4.公益社団法人滋賀県看護協会職員給与規程の改正について （在宅ケアセンターみのり） 5.業務執行理事活動の報告 6.職能委員長会議について Ⅲ　その他 1.理事会・合同委員会【1月21日】について 2.かいつぶりのわについて 3.部落解放研究第30回滋賀県集会について 4.日本看護協会キャラクター「かんごちゃん」47都道府県バージョン制作について
5	令和5年 1月21日（土） 9:00～12:00 滋賀県看護研修センター 出席理事・監事数 理事　16名 監事　3名	Ⅰ 決議事項 1.公益社団法人滋賀県看護協会 職員再雇用規程改正（案）および職員就業規則一部改正（案）について Ⅱ　協議事項 1.令和5年度　重点事業（案）について 2.令和5年度　教育計画（案）について Ⅲ　報告事項 1.令和4年度　職能委員会・常任委員会　中間報告 2.業務執行理事活動の報告 Ⅳ　その他 1.部落解放研究　　第30回滋賀県集会の出席について 2.令和5年度　滋賀県通常総会　　令和5年6月17日（土）
6	令和5年 3月18日（土） 9:00～12:00 滋賀県看護研修センター 出席理事・監事数 理事　16名 監事　3名	Ⅰ 決議事項 1.令和4年度　補正予算（案）について 2.在宅ケアセンターみのり建替等資産積立の延伸について 3.令和5年度　収支予算（案）について 4.中小企業の割増賃金改正への対応について 公益社団法人滋賀県看護協会　職員給与規程一部改正（案）について 公益社団法人滋賀県看護協会　非常勤就業規則の一部改正（案）について 5.令和5年度　重点事業ならびに事業計画について 6.令和5年度　総会プログラム・提出議案について 7.令和5年度　改選役員推薦状況について 8.滋賀県看護協会長表彰　審査について 9.医療福祉センター　参画について Ⅱ　協議事項 1.次年度理事会開催日程（案）について Ⅲ　報告事項 1.看護功績章・看護功労者知事表彰の推薦について 2.業務執行理事活動の報告 3.滋賀県看護協会　重要な職員の異動について Ⅲ　その他 1.「会員限定優待制度」について （サカイ引越センター）

職能委員会報告

保健師職能委員会報告

委員長　西本　美和

【審議事項】活動目的:現場の保健師活動の課題検討と解決に向けた取り組み
① 長期化する新型コロナウイルス感染症対応に係る課題とその解決に関すること
② 「滋賀県保健師人材育成指針」の活用推進に関すること
③ 地域の健康寿命延伸・生活習慣病予防・重症化予防に向けた保健師活動に関すること
④ 会員拡大に関すること

委員会進捗状況（４月～３月）

【審議事項①】

長期化する新型コロナウイルス感染症対応に係る課題とその解決に関すること

課題：コロナ対応に追われ地域保健活動が出来ていないこと、保健師の退職

対応：11 月 25 日に開催された「全国保健師長研修会」の内容を復命してもらい、「コロナ禍でも必要な活動は実施できる方法に変換して実施してきたが、そのときに必要だった保健師のスキル、健康危機管理の視点、従来の方法とは異なる考え方の転換」について話し合い、整理したものを、12 月の保健師職能だよりで発信済。

【審議事項②】

「滋賀県保健師人材育成指針」の活用推進に関すること

市町の活用事例を情報収集し、職能だより（３月号）で紹介した。

【審議事項③】

地域の健康寿命延伸・生活習慣病予防・重症化予防に向けた保健師活動に関すること

令和 4 年 12 月 17 日（土）に開催された、第一地区支部研修に保健師職能会員を呼びかけた。テーマは、高齢化とコロナ禍の孤立などで問題となっている糖尿病の管理について、大津市保健師より「糖尿病予防の取組」や「高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施事業の取組」について報告し、糖尿病認定看護師と皮膚排泄ケア認定看護師より最新の看護実践について講義を受けた。

現地参加 19 名(うち保健師１名)、オンライン参加 29 名(うち保健師７名)、合計 48 名(うち保健師８名)

【審議事項④】

会員拡大に関すること

①日本看護協会保健師職能委員会が作成した、会員確保に向けた資料について検討した。
今後、この資料が確定出来次第、保健師会員確保に向けた活動に利用していく。

②「保健師確保のための活動に関する調査」の実施
県および 19 市町を対象に、保健師採用にむけて実施している事項をアンケート調査した。
調査のまとめ
・多くの市町が、採用計画や配置、募集要項、説明会等の取組みの受付や調整について人事課との連携を行っていた一方で、説明会やインターンシップを行っている自治体は少ない状況。
・今回は離職理由を調査したが、新規採用職員が自治体を選んだ理由や説明会等の取組み効果についての情報交換を望む意見もあった。
・離職者はコロナ禍で多くなった可能性もあるが、採用１～３年の退職者が多い印象。（オンライン)」を開催する。また令和５年度事業として、保健師確保のための情報交換会を開催する。

③保健師職能集会の開催
令和５年２月４日（土）9：30～12：00　滋賀県看護協会　研修室（ハイブリッド）
テーマ：『自分の仕事を今のやり方のままでいいのか、ちょっと立ち止まって考えよう』
～目的達成のための方法論を学ぶ～
基調講演：「目的達成のための方法論（行動の立案と実施）」
防衛医科大学校　防衛医学講座　教授　清住　哲郎先生
自治体活動事例報告、グループワーク
参加者：41 人（会場参加 26 人、web 参加５人、職能委員 10 人）

全体評価

コロナ対応最優先であった期間を経て、アフターコロナを見据えた地域保健活動の方向性や、保健師の専門性と果たすべき役割を再認識する一年となった。引き続き、保健師職能の専門性を高めるための人材育成に取り組んでいきたい。

助産師職能委員長報告　　委員長　　溝口　浩子

【審議事項】活動目的:現場の助産師活動の課題検討と解決に向けた取り組み
① 長期化する新型コロナウィルス感染症対応に係る課題とその解決に関すること
② 周産期医療計画に基づく助産師等のネットワークに関すること
③ 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない助産師活動の強化（助産師外来・院内助産・産後ケア）に関すること
④ 会員確保に関すること

【令和 4 年度活動目標と活動実績】
○目標:「現場の助産師活動の課題検討と解決に向けた取り組みを行う」
○委員会開催(R4.6 月～R5.4 月 11 回月 1 回の委員会開催)

【審議事項①】
1. 長期化する新型コロナウィルス感染症対応に係る課題とその解決に関すること
毎回の委員会開催時に、各職場の感染者情報・妊産婦の現状について討議し共有した。
また、近畿地区助産師職能委員長で、感染症状況と妊産婦支援について現状を共有し情報交換に努めた

【審議事項②】
2.周産期医療計画に基づく助産師等のネットワークに関すること
令和 5 年 3 月 11 日助産師職能集会開催　39 名参加
1)「滋賀県周産期の現状と今後の計画」について、滋賀県健康医療福祉部理事.角野文彦氏
2)「産前産後ケアステーションにじいろ　産後ケアの現状と今後の課題」岸本尚子 MW
3) 4 ブロックのグループワーク

【審議事項③】
3.妊娠から子育て期にわたる切れ目のない助産師活動の強化(助産師外来・院内助産・産後ケア)に関すること
1) 助産師の活動強化・スキルアップのための研修会の開催
テーマ①:「事例から学ぶ！胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断の評価」　6 月 17 日　28 名参加
テーマ②:「新生児の病態生理と異常の対応事例を通して学ぼう」　8 月 17 日　41 名参加
柳小児科医と、新生児集中ケア認定看護師の栗林 NS による講演
2)院内助産・助産師外来の推進強化について、10 月 18 日近畿助産師職能委員長会に定義について再確認。現在の業務の中で、ほぼ院内助産が出来ている事がアンケートで分かった。
3)産後ケア　各施設の現状把握　混合病棟化が進み産後ケアを実施したいが、マンパワー不足で 実践出来ていない施設が多い。
4)「院内助産・助産師外来フォーラム」の開催　R5 年 1 月 30 日 ZOOM 開催　約 2000 名参加

【審議事項④】
4. 会員確保に関すること
助産師職能委員会共同企画の研修、助産師レターで入会の呼びかけをしている。
今後も助産師が集う催しや看護管理者研修会を利用し、会員拡大に努めたい。

【その他】
① 滋賀県タクシー協会から「ゆりかごタクシー研修会」講師として、助産師職能より 6 名派遣
20 名のタクシードライバーの参加あり、高評価であった
② 滋賀県助産師キャリアアップ応援事業構成員として一人参加。
③ 助産師出向事業(滋賀県主導)　H26～R4　29 名の助産師が出向利用。この助産師出向は、助産師の実践能力向上の為には重要な事業である事を再認識した。

看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）報告　　委員長　伊波　早苗

【審議事項】活動目的:病院現場における看護職活動の課題検討と解決に向けた取り組み
① 長期化する新型コロナウイルス感染症対応に係る課題とその解決に関すること
② 「病院看護管理者マネジメントラダー」の活用推進に関すること
③ 看護の専門性の発揮に資するタスクシフト／シェアに関するガイドラインの活用推進に関すること
④ 「看護チームにおける看護師・准看護師および看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」に基づく看護補助者活用のための看護管理者研修の支援

【令和４年度活動目標と活動実績】
〇委員会開催(7～3 月)
月１回、計９回開催した。コロナ感染対策下、午後半日で委員会を実施した。

【審議事項①】
1. 長期化する新型コロナウイルス感染症対応に係る課題とその解決に関すること
毎回、委員会内での課題共有を行い、県下での情報提供などが必要な事項がないか、タイムリーに検討した。8 月は発熱外来がパンクし、各病院の対応について、11 月は、患者の ADL 低下や認知症などでコロナ病棟の負担増、面会制限の状況について情報共有をおこなった。1 月 2 月は、それぞれ病棟を閉鎖したり、スタッフが不足したり、疲弊が強くなったりしながらも、各病院は対応のノウハウをすでに持っており、どの病院も救急を止めることなく受け入れを継続している状況が確認された。いずれも各病院で対応ができており、あらためて課題として発信すべき事項はなかった。

【審議事項②】
2.「病院看護管理者マネジメントラダー」の活用推進に関すること
昨年度実施したアンケートで、マネジメントラダーをすでに活用している病院が 12 病院(25%)、活用準備中が5病院(内、2病院は 2022 年度内)と以前の調査より実施病院が増えていることがわかった。管理者育成については、各病院でそれぞれ研修をすすめているが、管理者になりたがらない、研修時間がとれないなどそれぞれに課題をかかえている状況があった。そこで、マネジメントラダーを活用している病院、し始める病院から情報提供をいただき、活用方法についての示唆を得るセッションを企画。また、管理者の魅力を含め、今後の管理者育成についての講演を県立総合病院の西村看護部長にお話しいただく企画を計画し、2 月 18 日(土)9:00～12:00 に交流集会として実施した。参加者は116名、看護部長級30.3%、師長級44.9%、主任級22.5%という構成であった。全体に好評で満足度の高い研修であった。アンケート回収は89名(回収率76.7%)。95%以上の方が学びや気づきに繋がり、77.3%が活用できると回答。マネジメントラダー、目標管理、キャリアデザインの構築、自分のことなどに活用するという意見が聞かれた。

【審議事項③】
3. 看護の専門性の発揮に資するタスクシフト／シェアに関するガイドラインの活用推進に関すること
ガイドラインの周知を図る方法を検討した結果、ナースレイクにガイドラインの紹介を掲載することとした。広報委員会の協力を得てナースレイク 11 月号掲載および 1 月号に掲載した。11 月号では、ガイドラインの紹介で、日本看護協会の掲載 HP を付して紹介した。1 月号には、ガイドラインにも掲載された野洲病院の事例の紹介を小森看護部長に滋賀版として原稿依頼をし、掲載した。
また、委員会内でタスクシフト／シェアの状況について情報共有を行い、夜間の看護補助者(ナイトアシスタント、クリーンメイトなど)に業務を移行している病院が増えたり、初回の抗生剤投与を医師から看護師にタスクシフトしたり進んでいる状況もあれば、薬剤師の不足でタスクシフトが進まない状況もあったりしている。人員は今後不足することが予測されるため、機器導入や DX で業務のスリム化や時間短縮を同時に実施していっている状況が共有された。

【審議事項④】
4.「看護チームにおける看護師・准看護師および看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」に基づく看護補助者活用のための看護管理者研修の支援
今年度より診療報酬で看護補助体制充実加算の要件に本研修が位置づけられたため、研修受講ニーズが高まることが予想され、早期に研修を開催し、診療報酬の届出をしてもらうため、例年 11 月に実施している研修を 7 月および 11 月の 2 回開催とし、実施した。
コロナ感染拡大により当日のキャンセルもあり、7 月は 114 名の参加、11 月は 68 名の参加で、多くの方々に修了証を発行することができた。

看護師職能委員会Ⅱ活動報告　　委員長　平井　里津子

【審議事項】 活動目的:介護・福祉施設・在宅領域の看護師の課題検討と解決に向けた取り組み
① 介護・福祉施設・在宅領域における「看護師のクリニカルラダー」の活用推進及び実践能力向上への支援
② 会員確保に関すること
③ 新型コロナウィルス感染症を含む災害時の BCP の周知と活用推進
④ 在宅療養を支える訪問看護・介護施設・診療所看護の機能強化にむけた取り組み

【審議事項①】
看護師クリニカルラダーの活用推進に向けた取り組み支援として、3 月に発行した職能Ⅱ通信のなかで、クリニカルラダーについての説明や各施設の取り組み状況について掲載した。これまでにも、クリニカルラダーの活用推進に向けて 4 つの看護実践能力についての理解や周知を行っており、いよいよ導入の段階にきている。しかし、残念ながら実際には導入・活用に至っていない施設も多いときく。施設の種類や機能によって導入を阻む理由は様々だと思われ、施設・訪問看護・診療所等々、それぞれの状況に応じた導入・活用推進の参考になればと、推進状況や課題の現状ににについて掲載した。

【審議事項②】
1 月 26 日の交流集会時に入会案内を行ない、案内資料を配布した。また、職能Ⅱ通信の送付時に看護協会の入会案内を同封した。コロナ禍において、以前に比べ研修機会が少なく配布のタイミングが困難なため、委員が地域やそれぞれの職場で入会を促す活動を行っており、特養で 3 名の入会者を確保できた。

【審議事項③】
長引くコロナ禍において、介護・福祉施設・在宅領域でも新型コロナウィルス感染症対応など様々な問題と直面しながら課題について考え対応している。感染症パンデミック等で施設での活動継続が難しい事態になったとき、重要業務を中断させないように平時からどう動くのか、何を準備していくのかを考えることが重要であることを身をもって痛感した。また、地震などの自然災害も想定した事業継続計画(BCP)の整備が急務であり、現場での不安を解決するために BCP についての研修会を 2 年続けてシリーズ化して行った。各施設の BCP の具体レベルでの進捗状況の確認、事例紹介や実際に困っていることなどを持ち寄り、グループワークで意見交換や課題共有を行なった。コロナ禍において感染の BCP については事実上の稼働となり、必要に迫られた形だが策定に至ったとの報告もきかれた。しかし、自然災害等の BCP についてはこれからとういところが多く策定期限が迫る中ピッチをあげて取り組む様子であり、策定支援につながったと思われる。
テーマ: 看護師職能Ⅱ研修会「みんなでつくろう BCP(実践編)」　日時 :令和 4 年 10 月 8 日(土)
講師 :滋賀県看護協会看護協会在宅ケアセンターみのり 所長 日永めぐみ氏　形式 : WEB 研修

【審議事項④】
在宅領域の看護職の看護実践能力向上に向けて(看護の将来ビジョン)に基づく職能Ⅱの活動として、『穏やかに死を迎えることへの支援、疾病・障がいとともに暮らすことへの支援』について考え「ACP」支援についての研修を行なった。講師より、「自身も特養で働いており、看取り介護にかかわる中で ACP 支援がキーになると感じており、事例を通して思考・受容過程は変化するという事を学びの共有ができ、ACP 支援の在り方について今一度考える機会となった」と意見をいただいた。在宅領域での看取りがますます増えていく事は容易に予測でき、穏やかに死を迎えることへの支援は継続的に充実させていかねばならないと感じた。
テーマ: 看護師職能Ⅱ研修会「職能Ⅱ交流集会～ACP 支援について語り合おう～」
日時 :令和 4 年 1 月 26 日(木)
講師 :緩和ケア認定看護師 西村美弥子氏　形式 : 一部集合(看護研修センター)＋Zoom 研修

✧ 委員会開催状況:委員会は 6 月～3 月で毎月開催(計 10 回)し、午後半日開催とした。

常任委員会報告

１．　教育委員会

委員長　古川 晶子

１）委員会開催　11 回／年

２）活動概要

諮問事項１：令和４年度教育計画に基づく研修の運営・評価に関すること

・令和４年度教育計画に基づき研修の運営を行った。今年度は、新型コロナウイルス感染症による日程等の変更はなく、計画通り実施することができた。集合研修は、十分な感染対策のもと演習を含めて実施した。

・実施した研修は、定例委員会で評価した。数年間においてテーマや内容、講師が変更されていない研修については、テーマや内容、講師の変更、研修終了、新規研修企画などの見直しを行い、次年度の計画に反映することができた。

諮問事項２：各職能ラダーを活用した実践力向上を目指した令和５年度教育計画の検討

・令和４年度の教育計画に基づき研修実施ならびに評価後、看護協会教育委員会が開催する研修の必要性や研修目標を検討し、看護職の生涯学習支援計画として令和５年度の研修を企画した。

・新規研修の立案と共に、県内の人材活用を考慮した講師選定を検討し、約７割の研修において研修テーマ、内容、講師を変更した。これらのことから、今年度の研修評価に基づいて、次年度の研修企画ができたと考える。

・オンデマンドを活用した研修企画については、オンデマンド研修と集合研修の運用について課題があり、次年度改めて検討することになった。

２．　認定看護者教育運営委員会

委員長　東　美香

１）委員会開催４回　（令和４年４月 21 日、９月 22 日、令和５年２月３日、３月 10 日）

２）活動概要

諮問事項１　認定看護管理者教育や今後の育成に関すること

・近年の状況を踏まえ、看護管理者の育成を強化していくことが重要である。会議の中でも協会長から組織の変革・地域を含めた組織全般の変革への行動を担う看護管理者育成の必要性の発信があった。これらのことを共有し、認定看護管理者教育への検討を継続した。

・今年度、滋賀県内の新規の認定看護管理者５名登録。今後の活動に向ける。

・認定看護管理者の魅力発信に繋がる活動について検討をした。

・現場で認定看護管理者がどのように実践しているか、看護管理としての魅力をどのように捉えているかなどをメッセージにして広報していく方法を検討。

諮問事項２　ファーストレベル教育の実施・評価に関すること

・2022 年度ファースト研修定員 50 名のところ受講希望者 65 名。受講確定者 62 名であった。定員オーバーではあったが、一人でも多くの管理者育成のため適正な審査のもと 62 名まで増員となった。2022 年６月 10 日～7 月 29 日実施。61 名の修了。

・研修は、従来の参集であったが、新型コロナの濃厚接触者は随時、ZOOM 対応とした。

・研修中に新型コロナ感染となってしまった受講生対応・救済措置についての対応検討。

・新型コロナ感染に伴い１名は次年度に未履修科目の受講となったが、それ以外の受講生は教育目標である、【1】ヘルスケアシステムの構造と現状が理解できる【2】組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる【3】看護管理者の役割と活動を理解し、これらの看護管理者のあり方を考察できる。という３点の目標については概ね達成できた。

諮問事項３　セカンドレベル教育の実施・評価に関すること

・今年度、滋賀県でセカンドレベル教育の開催。

・2022 年 11 月２日～12 月 23 日開催。26 名が受講しすべて修了された。
今年度の統合演習Ⅱ他施設実習は、自施設の役割を理解し、地域包括ケアシステムとして必要な施設への実習を行った。それぞれの研修生にとって有効な実習となった。

３）次年度への課題

・引き続き、ファーストレベル・セカンドレベル教育の実施。予定通りに進める。

・現場で活躍する認定看護管理者の魅力発信等を検討し、認定看護管理者の志願者を増やす工夫の検討。

３．看護学会委員会

委員長　大内　正千恵

１）委員会開催　11 回

２）活動概要

諮問事項１　令和４年度の滋賀県看護学会の企画・運営・実施・評価に関すること

① 企画については、ハイブリット形式の方法にて滋賀県看護協会を会場とした。また、学会内容については、看護研究発表、基調講演、シンポジウムの３部構成で実施した。「次世代につなぐ看護への期待」をテーマとし、基調講演、シンポジウムは午後に開催した。交流会については、コロナ感染拡大などを考慮したため、今年度も実施はしなかった。

② 運営については、タイムスケジュールやシナリオの作成を行い、看護研究発表会(12 演題)は、スケジュール上１会場にする事とした。午後からの運営については、大研修室のみで実施した。一般市民への公開案内については、市町の広報紙への掲載依頼を滋賀県看護協会へ依頼した。

③ 実施については、ハイブリット方式はトラブルなく実施できた。看護研究発表及びシンポジウムが時間延長する場面があり、閉会式が１５分延長となった。対面参加が想定以上の参加人数であったため、テーブルや椅子の準備ができておらず、急遽追加で準備する事となった。

④ 評価については、参加人数は、対面：66 名　web：170 名、合計：236 名であった。
コロナ禍ではあったが、対面での参加者が想定よりも多かったため、滋賀県看護学会への関心が高いのではないかと考える。タイムオーバーについては、研究発表者とシンポジストに時間配分について、入念な打ち合わせをする必要があった。オリエンテーションの不十分さが明確になったため、次年度はオリエンテーション用のシナリオを十分に作成する必要がある。

諮問事項２　看護研究の質向上を目指した研修の実施

① 学会委員会が主催する「やってみよう看護研究」については、参加者が質問しやすい環境となっているため、どんな些細な事も質問でき、担当の講師が丁寧に回答されているため、看護研究者を増やしていくためには、必要な研修であると評価している。

② 今後は、研修に参加した人が、滋賀県看護学会で発表できるような仕組みを作っていくことが課題である。

諮問事項３　令和５年度滋賀県看護学会の企画に関すること

① 学会テーマは、「看護の変革は未来を創造する～看護の価値や看護職の多様性～」とし、基調講演、シンポジウム、看護研究発表会については、前年度と同様であるが、令和５年度は交流会の開催を４年ぶりに実施する。

開催会場はピアザ淡海、開催方法は全て対面での開催を予定している。

４．看護活動推進委員会

委員長　　田附　容子

1）委員会開催　10 回

2）活動報告

諮問事項１　「看護の日」「看護フェア」事業に関すること

2022 年 5 月の看護フェアは with コロナの考えのもと、感染対策を行いながら「看護の力で明るい未来を」をテーマとして小中高生対象に看護研修センター内での体験型のイベントの計画・実施を行った。初めての研修センター内での試みであったが 50 名を超える多くの小中高生が参加してもらうことができ高評価を得ることができた。

諮問事項２　会員加入促進に関すること

入会特典に関する提案や加入促進普及活動の提案を行うにとどまった。

諮問事項３　看護の魅力発信に関すること

（「届け！看護の魅力配達事業」、「仕事チャレンジフェスタ」の参加等）

看護の魅力配達事業で行っていた県内の中学・高校への学校訪問を再開されている。仕事チャレンジフェスタはテクノカレッジ草津において若年層対象に感染対策を万全に行ないながら開催した。

諮問事項４　県内看護学生就業ガイダンス・交流会の開催

8 月 5 日（金）感染対策（マスク着用の徹底、事前検温、健康チェック、3 密を避けソーシャルディスタンス）を万全に行いながら就業ガイダンス交流会を開催した。今年度は 5 年目となった。今年度は大学の予定と重なってしまったために大学生の参加はなく専門学校生 6 名のみの参加にとどまった。訪問看護や介護施設、保健師や後方支援病院、助産師など多様な看護職の話を聞くことで、働き方の視野や選択肢が広がり自身のキャリアを考えるよい機会となった等、有意義な交流会になったとの意見を多く聞くことができた。また少人数での参加であり講師とも距離が近く、聞きたいことが聞くことができ濃厚な時間となったとの意見もあった。福利厚生についての質問も多く聞かれ学生達がこのガイダンスを通し真剣にキャリアデザイン構築に活かそうとする姿が見受けられた。

3）課題・評価

1. 今年度は with コロナとして感染対策を万全に行ないながらのイベント開催となった。体験型イベントは高評価が得られた。来年度も看護の魅力が十分伝えられるイベントを計画していく。
2. 会員加入促進に関することについては話し合ってはいるが提案のみにとどまっている。この課題は各職能委員会でも取り組まれている課題であり今後も継続して検討し加入促進につとめていく。

５．労働環境改善委員会

委員長　吉田　千春

1)　委員会開催　　9 回

2)　活動内容及び評価・課題

諮問事項１　「看護職の処遇改善」に関すること

(1)滋賀県看護協会が 2017 年度・2022 年度に実施した「看護職員・看護補助者の処遇改善に関する実態調査」からそれぞれの処遇の変化をグラフ化し、課題の検討を行い 3 つの課題を抽出した。

① 准看護師の昇給率は、看護師・看護補助者のそれに比べて低く、看護師資格取得支援の必要性

②夜勤手当の改善は見られず、看護師・看護補助者の夜勤者確保のためにも手当の改善が必要

③スペシャリストの手当がある病院は 2 割に止まり、看護の質向上のためにも手当支給の必要性

(2)看護職の給与に大きく影響する国家公務員医療職俸給表（三）の改正が行われ、今後看護の専門性と役割の重要性に見合った賃金体系の導入と処遇改善が進むことになる。そのため、ナースレイクに記載し周知の機会とした。

諮問事項２　「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」の理解や周知、現場の課題検討に関すること

(1)令和 4 年 10 月 13 日ワーク・ライフ・バランス研修会を開催した。「看護管理者が生き生きと働き続けられるために」をテーマに、京都府看護協会協会長　豊田久美子氏による講演会開催後、グループワークを行った。ワーク・ライフ・バランスとは、仕事も自分の生活の一部で両者のバランスでなくシナジー（調和）を図ることであることを理解するよい機会となった。

(2)令和 4 年 12 月 15 日開催のプラチナナース研修会「私と年金」に参加した。社会保険労務士の講演と、プラチナナースとしてセカンドキャリアで働く 2 名のエピソードとメッセージから、看護職が早い段階から年金制度を理解し、自分のセカンドキャリアや将来について考える機会となった。それぞれのライフスタイルに合った就業継続や再就職に向けて今後のライフプランを考えるための支援となった。

諮問事項３「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」の活用推進に関すること

(1) 令和 5 年 2 月 16 日「健康で安全な職場を目指して～看護管理者が知っておくべき法律～」をテーマに滋賀県医療勤務環境改善支援センター医療労務管理アドバイザー板谷喜一氏による研修会を開催した。具体的な相談事例や令和 4 年以降の法改正も含めた講義内容で、看護管理者は労務管理に関する法律やガイドラインを理解し、常日頃からスタッフとの円滑なコミュニケーションが重要であることを理解する機会となった。

(2) 労務管理を行う上で管理者が法律を理解していることは重要であり、労務管理の研修会は今後も継続していく。

諮問事項４　医療勤務環境改善支援センター訪問・情報交換

(1)　令和 4 年 10 月 26 日医療勤務環境改善支援センターを訪問し、今年度の活動と活動実績、医師の働き方改革におけるタスクシフト・シェアの動向等について把握した。タスクシフトが進むが、進捗状況は病院毎で大きな差があることを知る機会となった。

(2)各施設が医療勤務環境改善支援センターを積極的に活用し勤務環境改善に取り組めるようにナースレークで広報を継続する。また、今後も医療勤務環境改善支援センターと連携し、看護職の職場環境改善支援が受けられるように働きかけていく。

６．広報委員会

委員長　小野美雪

１）委員会開催　12 回

２）活動概要

諮問事項１　ナースレーク年４回の発刊

ナースレーク 155 号（7/15）、156 号（10/4）、157 号（1/13）、158 号（4/）の発刊した。

諮問事項２　会員拡大に向けた新たな企画検討に関すること

ナースレークは、会員拡大にどう貢献できるかを検討した。

① ナースレークが会員に届けられるものであるため、記事内容を工夫することで、活動会員の退会を留めることに貢献できるのではないか

②ナースレークが、若い年齢層の会員に読まれていない現状がある。まずは、手に取った時点で目に留まる記事を表紙や裏表紙に掲載することに変更した。これに伴い、裏表紙に掲載していた会員の声と編集後記を廃止した（157 号より一部修正）。

③会員が望む記事をアンケート調査するため、広報委員会の Google アカウント取得の許可を得た。今年度は未実施であったため、来年度への繰り越し課題とする。

３）評価と次年度への課題

・ナースレークの記事内容について

委員会や地区支部の活動報告記事を依頼してきたが、委員会や地区支部が情報発信できる場としてナースレークを活用してもらう記事内容に変えてゆく必要がある。これにより、会員にとって有益な情報が得られるナースレークにしてゆきたい。まずは、ナースレークを活用してもらえるよう委員会・地区支部に周知を図ることが課題である。

・ナースレークの編集について

表紙・裏表紙合わせて 12 ページのナースレークで、「一番星見つけた！」、「Voice」、委員会報告、地区支部だより、ナースセンターだより、看護協会からのお知らせを掲載している。毎年定型化した発刊計画になっており、見直しすることが課題である。

以上、2 点を次年度への繰り越し課題とする。

7. 災害看護推進委員会

委員長　鵜飼　征子

1）委員会開催　11 回（研修含む）

2）活動概要

諮問事項１　災害支援ナース育成に関すること

9 月 8 日（木）・9 日（金）災害支援ナース研修（実務編）　受講者：20 名

講師：滋賀県防災危機管理局　局長・防災危機管理監　藤田喜世隆先生

藍野大学医療保健学部看護学科教授　西上あゆみ先生

災害看護推進委員にてグループ演習（クロスロードゲーム）実施

11 月 28 日（月）ラダーレベルⅡ～Ⅳ対象研修

「災害時の看護を考える」　受講者：49 名

講師：藍野大学医療保健学部看護学科教授　西上あゆみ先生

災害看護推進委員にてグループ演習支援

12 月 19 日（月）管理者対象研修

「みんなで考えよう災害～その時あなたは指揮できますか」　受講者：27 名

講師：長岡崇徳大学看護学部看護学科准教授　山崎達枝先生

災害支援ナース広報

広報紙 Nurse Lake157 号　災害看護推進委員会活動報告掲載

令和 5 年 5 月 7 日（日）看護の日　看護フェア 2023 災害看護コーナー運営予定

開催場所：滋賀県看護協会

諮問事項２　「災害支援マニュアル」及び「災害支援ナース受援マニュアル」の周知

災害支援マニュアルの内容をすべて見直し・修正を行ったが、来年度より災害支援ナースの登録・派遣システムが変更となったため、修正後の災害支援マニュアルの周知は行わなかった。新しい災害支援ナースの登録・派遣システムの詳細が判明次第、マニュアルの修正について検討していく。

諮問事項３　県防災訓練で「看護協会災害支援活動や災害支援ナース」の PR に関すること

10 月 16 日（日）旧長浜北高等学校跡地で開催された滋賀県総合防災訓練に参加した。今年度は緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・関西広域連合の訓練を含む近畿府県合同防災訓練のため規模が大きく、多くの市民が訪れていた。展示コーナーに参加し、東日本大震災や熊本地震での災害支援ナースの活動風景の写真や災害支援ナースの携行品を展示した。

3）評価・課題

昨年度に引き続き、災害看護に関する研修を 3 研修開催した。今年度は看護協会にて集合研修の形式で開催できたため、グループワークでは活発な意見交換が行われていた。研修受講者のアンケートからも BCP 作成など平常時からの備えに関することや災害時の看護に関する研修ニーズは高く、今後も防災を含めた災害看護の研修を継続していきたい。

災害支援ナースに関しては、改正感染症法・医療法により来年度から新たな災害支援ナースのシステムに変更となる。現在の災害支援ナースは都道府県看護協会に登録されているが、今後は国（都道府県）の管理に変更となり、研修・登録・派遣の方法が大幅に変更される。現在の災害支援ナース登録者も新しいシステムに沿った研修を受講しなければならない。今後、新たな災害支援ナース研修の企画・準備とともに、現在の災害支援ナース登録者へ研修受講の周知について検討が必要である。

８．　医療安全推進委員会

委員長　　森田　保

１）委員会開催　　10 回（毎月）　新型コロナ感染症の影響もあったが、集合会議を実施。

２）活動概要

諮問事項１　県下施設の医療安全管理体制の充実のための課題解決に関すること

・医療安全管理者研修及び交流会の開催－9 月 2 日（金）9:20～16:30
講師:荒井東京法律事務所 弁護士 荒井俊行氏　テーマ「事例から学ぶ看護職の法的責任」
感染対策を考慮しながら集合研修を準備し運営。各管理者がテーマに関わり意見交換を実施。

・次年度の医療安全管理者研修及び交流会の計画を検討し立案した。

・今年度より、県協会は、公益社団法人日本看護協会「医療安全管理者養成研修」の演習：集合研修開催に協力し、当委員会は研修講師の提案とファシリテーターとしての協力依頼に対応。
研修講師の選定を前年度に行い、教育部主催で集合研修開催－12 月 9 日（金）9:50～16:00
講師：彦根市民病院の医療安全管理者、看護科長　佐伯 公亮　氏
社会福祉法人しみんふくし滋賀 小規模多機能型居宅介護事業所 材久さん 乾 悦子 氏
ファシリテーターとして、医療安全推進委員５名が終日参加しグループワーク等を支援した。

・ナースレークを通じ、医療安全相談窓口の周知の実施（協会ホームページへの掲載継続）

諮問事項２　県民への医療安全意識の啓発に関すること（県民への啓発媒体の作成検討等）

・医療安全週間の医療安全推進啓発ポスターにより、県民にも情報発信し医療安全を啓発した。

・「看護の日」に県民への啓発リーフレット作成
医療安全推進啓発ポスターの内容を利用した。

諮問事項３　医療安全についてタイムリーな情報発信について

・ナースレーク医療安全通信掲載
1.Vol.157 号　－「そのお薬、粉砕して大丈夫？」を作成した。
2.Vol.158 号　－「患者確認」を作成した。

・訪問看護ステーションへの医療安全情報提供
今年度 1 回目「転倒転落に関連した医療安全情報」を訪問看護支援センターと連携し、訪問看護で活用可能な医療安全情報を提供した。2 回目は「安全安心な訪問看護、事故統計に関連した医療安全情報」を提供した。

・医療安全週間（11／20～の１週間）の医療安全推進啓発ポスター作成・配布
「日頃から AED を点検しましょう」を作成。10 月、県内の医療関係機関に発送し活用を依頼及び、看護協会ホームページに掲載し広報した。

３）評価と今後の課題

・感染対策で委員会開催欠席を余儀なくされる委員もあったが、今年度の諮問事項①～③に係る計画は、実施した。

・2022 年度日本看護協会開催・医療安全管理者養成研修を 12 月 9 日に実施し、日本看護協会、滋賀県看護協会のニーズに対応し、県下の医療安全管理体制の充実に寄与できた。

・訪問看護への安全情報提供は、2 回/年ではあるが定着し実施できている。但し、一方的な情報提供であり、今後、提供先の活用状況や安全管理の向上につながっているか評価が必要と考え、調査等、今後の課題とする。

・感染防止期間中であったが集合で医療安全管理者交流研修会を行えた。参加者から、情報共有のみならず他施設管理者との意見交換が安全活動実践に活かされると評価を得た。次年度も施設間交流を行い、県内の医療安全管理の質向上に努める。

・医療安全週間ポスター・医療安全通信・県民への啓発媒体等様々な対象に向け、タイムリーな医療安全情報提供や安全意識啓発につなげた。これらの活動を今後も継続する。

９．　選挙管理委員会

委員長　稲田　祐美子

１）委員会開催　１　回

２）活動概要

諮問事項：滋賀県看護協会の役員および推薦委員・日本看護協会の代議員・予備代議員候補者の選挙に関すること

第１回（令和４年７月 27 日）

協議事項

・委員長選出

・委員会活動計画と委員長会議の出席に関して

・総会における選挙管理委員会の役割について

・定款・定款細則選挙規程に基づく選挙事務の説明

・候補者名簿の作成事務

・立候補の受け付けに関して

・推薦委員会からの推薦者

第２回　委員長のみの対応

・令和４年度の推薦委員会からの推薦人数は改選数と同数となっており、また、立候補受付期間において立候補がなかったことから、令和５年度の「役員などの選出」は、「候補者が改選数を超えないときは、投票は行わない」に該当するため、投票は行なわないこととなった。

同様に日本看護協会代議員・予備代議員候補者も定数内であり投票は行わないこととなった。

そこで、選挙管理委員会事前会議の開催は実施しないこととなり、また、総会での役員の選出に関する報告は、委員長が対応することとした。

３）評価と今後の課題

投票が行われる場合は、総会当日の円滑な選挙に備える。

時間経過に伴う総会出席者の確実な把握をする。

10. 推薦委員会

委員長　斉藤　育代

1）委員会開催　5回

2）活動概要

諮問事項：滋賀県看護協会の役員および推薦委員・日本看護協会の代議員・予備代議員候補者の推薦に関すること

① 公益社団法人定款細則 14 条、16 条 2 項、23 条 3 項及び 24 条、および改選に伴う役員等、推薦委員、代議員および予備代議員の各候補者の公正な推薦を行った。また滋賀県看護協会役員等の推薦および推薦委員会に関する規定に基づき職能委員長および令和５年度通常総会議長候補者を推薦した。

② 公益社団法人滋賀県看護協会定款、定款細則、滋賀県看護協会役員等の推薦および推薦委員会に関する規定を参考に年間計画を立案し、以下の活動を実施した。

・2023 年度の役員及び委員の確認と 2024 年度代議員及び予備代議員候補者の確認
・支部長への役員等の推薦依頼文書の作成と発送
・推薦返書の確認と名簿作成
・承諾書の提出依頼文作成と発送準備
・承諾書を確認し不備書類の再提出依頼
・改選理事・代議員等の推薦名簿作成
・候補者名簿などの最終確認
・活動報告書作成引継ぎ準備
・選挙管理委員長に名簿提出
・通常総会議長の候補者名簿を会長に提出

3）評価と今後の課題

・滋賀県看護協会定款、定款細則の読み合わせを行い、改めて委員間の共通理解を深め、役割遂行した。

・昨年度に引き続き承諾書の記載漏れや間違いを減少させるため記載例を添付する作業を行ったが、記載不備があり、再提出を依頼する作業に時間がかかった。一番多い記載不備は所属名の記入もれと役員等の種類であったため、第 2 号様式（第 14 条関係）の書式の修正が必要だと考えられる。

・立候補者がなく、各推薦者からの選出となった。

・一部の承諾書の到着が会議に間に合わず事務局での対応となる。

地区支部活動報告

令和4年度　第1地区支部活動　活動報告

支部長名	西村　由香	支部会員数	令和5年3月5日現在	2,676人
地区支部活動方針	病床機能の分化が進む中、人々が最期まで安心して在宅での療養生活が送れるよう、看護職員と多職種と連携を取り、医療と在宅をつなぐ基盤づくりを目指す。看護職員が各施設での地域包括ケアに向けた取り組みの一助になるよう活動する。また、まちの保健室の活動を通して一般参加者にも自らできることについて考える機会を持つ。			
役員会	会議回数 10回実施	①令和4年5/12 ②7/11 ③8/8 ④9/12 ⑤10/17 ⑥11/17 ⑦12/14 ⑧令和5年1/16 ⑨2/16 ⑩3/13 計10回 14時～15時	主たる会場 市立大津市民病院	役員数　5　人

目標		事業名	事業の詳細
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点1 看護の質向上のための看護実践能力の強化	集会	日時：令和４年7月30日（土）9:30～12：00 会場：JCHO滋賀病院　　内容：令和3年度地区支部活動報告・令和4年度活動計画、新旧役員挨拶 参加者数：27名
		研修会 （講演会）	日時：令和４年7月30日（土）9:30～12：00 会場：JCHO滋賀病院　3階講義室 テーマおよび内容：①看護協会の動向～看護職にもとめられること～　草野とし子協会長 ②アンコール講演 『新型コロナウイルス感染症クラスター　沖縄・大阪広域看護師派遣報告』 講師：①滋賀県看護協会協会長　草野とし子氏　②JCHO滋賀病院　副看護師長　大西　志保理氏 「健康寿命延伸、生活習慣病予防、重症化予防に向けた看護活動の強化」について看護職が連携して活動することと地区支部の役割について草野とし子協会長をお迎えしご講演頂いた。アンコール公演では、本来のあるべき看護とは何かと考え、看護の基本を振り返る機会となった。
		研修会	日時：令和4年12月17日（土）　9:30～12:00 会場：滋賀県看護研修センター・ZOOM　参加者：38名　（現地19名・Web29名） 第一部：滋賀県看護協会　2021年度師長研修・他施設訪問での学び 『総合周産期母子医療センターにおけるBCP作成のための取り組み』 発表及び情報交換　講師：大津赤十字病院　看護師長　吉田　久代氏 第二部：「健康寿命延伸、生活習慣予防、糖尿病の重症化予防の取り組み」 講演及び質疑・応答 発表者：大津市健康保険部長寿政策課　主査　原田真弓　大津市保健所健康推進課　主事　四村幸子 市立大津市民病院：山下亜希糖尿病看護認定看護師　大津陽子皮膚・排泄ケア認定看護師 ・Web研修を取り入れたことで、研修参加者の増加やあらゆる部署・職種の参加につながった。 ・内容は大変わかりやすく、最新の動向を知ることができた。今後の研修企画として、地域と病院の連携・外来看護師の役割、コロナ禍における健康問題や支援体制について要望があった。
		出前講座	日時：令和4年11月～令和5年3月各日　　会場：依頼した施設　8か所 1.目的：さまざまな領域の専門・認定看護師からの講義・指導を通して、各施設での看護の質の向上を図る。 2.方法：施設の要望を聞き、希望する領域の認定看護師を派遣し、講義・演習を実施する。 「感染管理」「救急看護」「摂食・嚥下障害看護」「手術看護」「皮膚排泄ケア」「認知症看護」「慢性呼吸器疾患」の7領域の認定看護師の方にご訪問いただいた。研修受講者は総数約180名で、看護師だけでなく、医師、薬剤師、理学療法士など多職種の方にも参加いただき、チーム医療の実践に繋がる実りある研修になったと評価。コロナ感染拡大により2月に１施設延期となったが３月に実施し予定通り終了した。
	重点2 看護職の連携・看護力の強化 よる地域看護能力の向上に職機能強化	しぶだよりの発刊	令和4年度　1版　企画内容「第１回研修会報告」「支部スタッフの紹介」「しぶさんぽ」「ほっと一息コーナー」 令和4年度　2版　企画内容「第2回研修会報告」「看護ネット研修会報告」「出前講座」「しぶさんぽ」「ほっと一息コーナー」 令和4年度第1版　9月発刊（250部）支部員へ発送 令和4年度第2版　2月発刊（250部）支部員へ発送

重点3	事業名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者及び結果
看護職等の確保・定着促進と労働環境の改善・充実	まちの保健室	令和4年10月第3週土曜日に例年「大津健康フェスティバル」を実施		中止	一般市民参加
	大津圏域地域看護ネット会議	①8/24　②9/22 ③10/26　④11/10 ⑤12/13　⑥1/13 ⑦2/21	市立大津市民病院	目的）あらゆる場所で働く看護職が自らの役割発揮と連携する 顔の見える関係を形成し、ネットワーク強化を図る 目標）各々の施設の現状の課題を共有し、課題解決に向けた取り組みが出来る	大津市内病院の看護部長代表：3名 訪問看護ステーション連絡協議会代表：1名 大津市保健所保健師：1名 大津市保健所統括保健師：1名 ケアマネ協議会代表：1名 第一地区支部・支部長：1名
	大津圏域地域看護ネット情報交換会	2023/2/21（土） 9時半～12時半	平野市民公民館	「在宅支援について、それぞれの立場から考える」	現場の実践者同士でグループワークの実施　33名参加

その他の機関からの依頼事業等の活動	会議名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者
	第７９回国民スポーツ大会　第２４回全国障害者スポーツ大会大津市準備委員会	2022/8/19	大津プリンスホテル	令和3年度事業報告・収支決算 令和4年度事業計画・収支予算について	県内担当者
	大津圏域地域医療構想調整会議	2022/10/11 2023/3/14	滋賀県庁内会議室	令和2年より2年間議論が中断しており、通期医療構想の推進に向け会議を開催	各委員

令和４年度　第2地区支部活動　活動報告

支部長名	大塚　喜久江	支部会員数　令和5年3月5日現在	2,123人
役員会	会議回数　9回 実施：7/15、8/22、9/8、10/13、11/10、12/8、1/12、2/9、3/9	主たる会場　滋賀県立精神医療センター	役員数　5人
地区支部活動方針	地域の中で看護の実践力の向上と質の向上を目指し、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに取り組む 湖南地区看護ネットワークとの連携を強化し、地域で働く看護職員が施設や領域を超えた看護活動を実践できる活動を行う		

目標		事業名	事業の詳細			
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点１　看護の質向上のための看護実践能力の強化	研修会	日時：令和4年11月13日（日）9：45～12：00　場所：看護研修センター テーマおよび内容：口腔ケア支援を必要とする人への口腔ケア方法について 参加者：地区支部会員　29名　講師：歯科衛生士			
		出前講座	期間：令和4年10月～令和5年1月 内容：地区支部から出前講座の案内を行い、要望のあった分野の認定看護師等が出向き 講演等を行う			
			日時	実施施設および領域	参加者	
			①10月27日（木）13：00～14：00	山田産婦人科（感染症看護）	13名(看護職、その他)	
			②11月1日（火）16：00～17：00	富田クリニック（感染症看護）	13名(看護職、医師、その他)	
			③11月8日（火）9：00～10：00	あいむ訪問看護ステーション（摂食・嚥下障害看護）	9名(看護職、栄養士、事務職)	
			④11月16日（水）16：00～17：00	湖南ホームタウン（摂食・嚥下障害看護）	16名(看護師、介護士、その他)	
			⑤11月17日（木）11：00～12：00	あうん訪問看護栗東（緩和ケア）	15名(看護職、介護職、その他)	
			⑥11月18日（金）17：15～18：15	近江草津徳洲会病院（がん性疼痛看護）	23名(看護師、理学療法士)	
			⑦11月25日（金）14：00～15：00	草津ハートセンター（慢性疾患看護）	6名(看護師)	
			⑧12月1日（木）15：00～16：30	市立野洲病院（認知症看護）	21名(看護師、その他)	
			⑨12月2日（金）17：30～18：30	県立小児保健医療センター（糖尿病看護）	32名(看護師)	
			⑩1月19日（木）13：30～14：30	社会福祉法人びわこ学園（家族支援）	28名(看護師)	
			⑪1月19日（木）17：30～18：30	県立精神医療センター（摂食・嚥下障害看護）	18名(看護師)	

目標		事業名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点２　看護機能強化・看護職連携強化による地域看護力の向上	地区支部集会	令和4年7月2日（土） 9：30～12：00	滋賀県看護研修センター３階研修室	・2021年度地区支部活動報告 ・2022年度地区支部活動計画の説明 ・新旧役員　挨拶、連絡事項	地区支部会員　26名
		研修会 看護をつなぐコアネットＫＯＮＡＮとの共催	令和4年12月24日（土） 9：30～12：00	滋賀県看護研修センター3階大研修室	多様なKONAN看護を知ろう！ ～垣根を越えて聞こう、話そう、育てよう～	地区支部会員他　40名
		研修会	令和5年2月4日（土） 9：45～12：00	滋賀県看護研修センター2階研修室	まちの薬局（薬剤師）との連携 ・地域の薬剤師の活動を知る ・看護職との連携を考える	地区支部会員　19名
		看護職ネットワークづくり	年間計画で会議 第1回会議：9月2日 第2回会議：10月4日 第3回会議：2月28日	南草津病院	看護をつなぐコアネットKONAN会議	湖南圏域看護部長会・保健師・訪看・施設・学校・地区支部役員
	重点３　看護職の確保・定着等の労働環境の改善・充実促進と	研修会	令和4年7月2日（土） 9：30～12：00	滋賀県看護研修センター3階研修室	講話「今後の看護協会の動向」 講演「メンタルヘルス課題を抱えるスタッフへの支援」	地区支部会員　26名
	重点４　組織力強化	看護の日行事	令和4年5月頃	各施設で実施		各施設担当者・住民など

目標		会議名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	その他の機関からの依頼事業等の活動（経費不要）	湖南地域災害医療体制検討委員会	年間2回 第1回会議：7月26日（中止） 第2回会議：3月2日	草津保健所	湖南地域における災害時の医療救護活動体制の在り方の検討	支部長
		湖南圏域2025年医療福祉推進協議会	年間2回 第1回会議：10月26日 第2回会議：3月3日	草津保健所	地域包括ケアシステム構築に向け、湖南圏域の保健医療福祉関係者の人的ネットワークの形成と協働して取り組み目的を達成する	第1回　副支部長 第2回　支部長
		第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会	年1回～2回 第1回会議：8月29日 第1回宿泊衛生専門委員会：1月30日	草津エストピアホテル 草津市役所	第７９回国民スポーツ大会・第２４回全国障害者スポーツ大会に向けた円滑な準備事務等を進める	支部長
		草津市防災会議	年1回 第1回会議：12月21日	草津市役所	湖南圏域における災害時の地域住民支援について検討する	支部役員

令和４年度　第3地区支部活動　活動報告

支部長名	與那城　隆幸	支部会員数	R5年3月5日現在	655名
地区支部活動方針	各施設の医療から在宅医療までを見据えた視点の育成と、それぞれの現場に適用する看護実践能力の向上を目指す 新型コロナウイルス感染予防策を徹底し、看護活動を広める 地域のあらゆる場で働く看護職員との交流を深める オンライン会議・研修なども積極的に計画する			

役員会		開催日	場所		開催日	場所	参加役員数
	第1回	5月10日	甲賀病院	第6回	12月16日	水口病院	各出席役員数：5人
	第2回	6月27日	ＷＥＢ	第7回	2月10日	水口病院	
	第3回	8月1日	水口病院	第8回	3月17日	水口病院	
	第4回	9月22日	水口病院	臨時	6月21日	水口病院	
	第5回	11月14日	水口病院				

目標		事業名	事業の詳細
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点１ 看護の質向上のための看護実践能力の強化	地区集会	日時：令和４年7月２日（土）　13：50～14：10　会場：甲賀病院　参加者43名 令和3年度活動報告・令和4度活動計画 講演「看護協会の動向　～看護職に求められること～　」 講師：滋賀県看護協会長　草野とし子
		看護研究発表会	日時：令和5年2月25日（土）　14：00～15：30　会場：甲賀病院　参加者40名 ４施設から看護研究発表を行い、情報共有・知識向上を目的とする 1題「介護認知率が高いことから信楽町の健康課題を考える」甲賀市役所　齋藤美緒 2題「リハビリ庭園面会の効果についての一考察～家族の視点から～」公立甲賀　野坂宣枝 3題「在宅への継続看護～症例を通して学んだこと～」信楽中央　藤井友香 ４題「医療機器を使用する在宅難病療養者の災害への備えの実態と課題～患者アンケート調査から～」甲賀保健所　徳橋早苗
		研修会	日時：令和4年7月2日（土）　14：15～15：15　参加者45名 会場：甲賀病院　講堂 食べる可能性を広げる看護　～アセスメントと日々のジレンマ～ 講師：公立甲賀病院　摂食・嚥下認定看護師　五丁森あずさ
	重点2 看護機能強化・看護職連携強化による地域看護力の向上	看護ネット推進会議	日時：令和4年7月28日（木）13：30～16：00　会場：甲賀合同庁舎　参加者23名 ①コロナ蔓延の長期化が及ぼす健康・療養生活への影響調査　－地域の現状－ 訪問看護ステーションより事例報告　グループワークでの共有
			日時：令和4年9月9日（木）13：30～16：00　会場：甲賀合同庁舎　参加者26名 ②コロナ蔓延の長期化が及ぼす健康・療養生活への影響調査　－施設事例－ 介護老人保健施設より事例報告　行政より百歳体操の体験、意見交換
		地域包括ケア推進フォーラム	日時：令和5年1月26日（木）13：30～16：00　会場：甲賀合同庁舎、オンライン併用 テーマ「人生の最期に看護職としてどう向き合いますか」　参加者44名 各施設における看取りの実践報告　４施設の発表と意見交換 （公立甲賀病院、水口病院、訪問看護ステーションこうなん、小多機　秋桜舎）
		コア会議	開催　5回　（5/10、7/28、8/24、9/9、2/17）　各出席役員数：4名
		まちの保健室	コロナ感染拡大のため開催出来ず
	重点３ 看護職等の確保・定着促進と労働環境改善・充実	研修会	日時：令和4年12月末日 「プラチナナースの語り」 地域で活躍するプラチナナースを講師に経験や看護感を共有・語りの場とする ※コロナ感染拡大に伴い開催できず次年度に引き継ぐ
	重点4 組織力強化	リフレッシュ企画	日時：令和5年5月14日（日）　10：00～12：00　会場：水口病院 テーマ：　メンタルセルフマネジメント 講師：公認心理師　髙村　朋加
	その他の活動	甲賀圏域　在宅医療福祉推進協議会	参加者：支部長
		甲賀圏域　地域医療構想調整会議	参加者：支部長
		甲賀地域　認知症疾患連携協議会	参加者：支部長

令和４年度　第4地区支部活動報告

支部長名	神　千草子	支部会員数	令和5年3月5日現在	1,173人
地区支部活動方針	１．「看護の力で東近江を元気に！」を合言葉に地域を支える看護職の定着と看護実践能力の向上を目指す ２．東近江圏域看護職ネットの活動を推進し、地域包括ケアシステム発展に向けた看護職の連携強化を図る			

役員会	会議回数	開催日・時間	会議回数	開催日・時間	主たる会場	役員数
	第１回	4月12日　13:30～16:00	第5回	8月24日　13:30～16:00	ヴォーリズ記念病院 (研修室および相談室)	出席役員数：5人
	第２回	5月16日　14:00～16:00	第６回	9月28日　13:30～16:00		
	第３回	6月25日　15:45～16:30	第７回	11月16日 13:30～16:00		
	第４回	7月27日　13:00～16:00	第８回	R5.3月8日13:30～16:00		

地区支部集会	令和4年 6月25日（土） 13:30～14：00	ヴォーリズ記念病院 （ハイブリッド形式）	テーマおよび内容：令和3年度支部活動報告・令和4年度支部活動計画 新旧役員・連絡員紹介	地区支部会員 35名参加

目標		事業名	事業の詳細
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点１ 看護の質向上のための看護実践能力の強化	研修会	日　時：　令和5年1月21日（土）14：00～16：00　会場：ヴォーリズ記念病院研修室（ハイブリッド形式）　参加者26名 テーマ：　認知症者の視点から考えるパーソン・センタード・ケア 講　師：　滋賀八幡病院　認知症ケア認定看護師　下舞真由美氏
			日　時：　令和５年2月17日（金）14：00～16：00　会場：ヴォーリズ記念病院研修室（ハイブリッド形式）　参加者32名 テーマ：　摂食・嚥下を知って食べる支援をしよう 講　師：　近江八幡市立総合医療センター　摂食・嚥下障害看護認定看護師　佐野房子氏

重点2 地域看護力の向上 看護機能強化・看護職連携強化による	事業名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者
	東近江圏域 看護職コア会議	令和4年 7月 8日	東近江健康福祉事務所	東近江圏域看護職ネットについて 令和3年度の事業結果について　令和4年度実施計画検討	8名
		令和4年 8月 8日	職員会館２F	令和4年度実施計画検討（認定看護師活躍の仕組みつくり） 看護職ネット会議および地域包括ケアフォーラムについて	4名
		令和4年10月18日	東近江健康福祉事務所	看護ネット会議開催について 地域包括ケアフォーラム開催における詳細打合せ	8名
		令和4年12月21日	東近江健康福祉事務所	看護ネット会議および地域包括ケアフォーラムの結果と振り返り 専門・認定看護師活躍の仕組みについて	7名
		令和5年2月21日	東近江健康福祉事務所	専門・認定看護師活躍の仕組みの事業名、実施要領（案）作成 令和4年の取り組み、令和5年度の活動について	7名
	東近江圏域 看護職ネット会議	令和4年11月11日	看護協会 （オンライン）	議題１：東近江圏域 専門・認定看護師の活躍の仕組み・取り組み報告 議題２：看護ネット会議の今後の活動に向けて（ウイズコロナにおいて今、感じる各現場の困りごと・各施設の事情等グループワーク）	36名
	地域包括ケア フォーラム	令和4年12月10日	看護協会 （オンライン）	テーマ「多様な施設での看取りや支援を知って学ぼう」 ①東近江圏域における看取りの現状 滋賀県東近江保健所　松浦さゆり氏 ②実践報告：特別療養老人ホーム　清水苑 看護小規模多機能型居宅支援友愛の家ヴォ―リズ ③実践者へのコメント　看取りを支える看護職の支援について ヴォーリズ記念病院　緩和ケア認定看護師　谷川弘子氏	東近江圏域 介護・看護職 61名
	フィードバック カンファレンス (事例検討会)	令和4年4月15日 令和4年6月27日	オンライン含む 各病院・施設	2回開催 ①膵体部癌のターミナル支援について～不安を持ちながらも在宅療養に移行できたAさんと家族の心の変化と退院支援 ②自宅での看取りを望まれていたが、病院で最期を迎えた独居の身寄りのないAさんの終末期支援	病院看護師、地域連携看護師、在宅サービス看護師・行政・施設

重点３ 看護職等の確保・定着促進と労働環境の改善・充実	研修会	日時：令和4年6月25日（土）　14：00～15：30 テーマおよび内容："Will-Must-Can"でセカンドキャリアを創造しよう ～安心して働き続けられるために～ 講師：京都橘大学　看護学部准教授　餅田敬司氏	地区支部 看護協会員 30名

重点４ 組織力強化	まちの保健室	令和4年10月30日 12:30～16：00	東近江保健センター	＜東近江市健康フェア2022に参加＞ テーマ：「コロナに負けない体力作り」～免疫力を高める生活習慣～ 実施項目：測定（血圧・酸素飽和度）　体力テスト　脳トレ　認知症タッチパネル ＊コロナ禍により集客イベントとして２年ぶりの開催で、通常より縮小し実施された。 ブース来場者：５８名	役員5名　連絡員4名

その他の機関からの依頼事業等の活動					
	わたSHIGA輝く国スポ障スポ近江八幡市実行委員会	令和4年8月26日 令和4年11月21日	近江八幡文化会館	第2回準備委員会　第1回実行委員会 設立総会　基本方針、事業計画　収支予算、常任委員会に委任事項	支部長 副支部長
	東近江圏域地域医療構想調整会議	令和4年11月15日 令和5年3月1日	オンライン 湖東信用金庫5F	報告事項協議事項：地域医療構想にかかる国の動向 その他 外来医療計画に基づく医療機器共同利用計画書について 圏域における地域包括ケアシステム推進に向けて意見交換	支部長
	東近江医療圏地域医療連携ネットワーク協議会			令和4年度開催なし	

令和４年度　第5地区支部活動　活動報告

支部長名	矢田　晴美		支部会員数	令和5年3月5日現在	919　人
役員会	日　時	場　所			参加者数
	①6月29日(水)　15:00～17:00	くすのきセンター	前年度報告および新旧役員の引き継ぎ		13人
	②7月19日（水）17:00～18:00	ZOOM会議	「出前講座」の企画、看護ネットからの提案の検討		7人
	③8月3日（水）　17:00～18:00	ZOOM会議	「出前講座」の準備・確認　手洗い動画の活用状況確認 「まちの保健室」の企画　診療所看護師へのｻﾏﾘｰの現状		6人
	④10月25日 16:00～17:00	ZOOM会議	理事会報告　湖東圏域内の２研修の後援について 「出前講座」研修報告・評価		6人
	⑤11月2日（水）14:30～17:00	くすのきセンター	看護職のつどいの企画、フォーラムの企画		7人
	⑥12月1日（水）15:00～12:00	くすのきセンター	理事会報告　　看護職のつどい準備　ﾌｫｰﾗﾑ準備確認		6人
	⑦1月11日（水）15:00～15:30	くすのきセンター	看護職のつどい最終確認　病院協会研修について		6人
	⑧2月5日（水）12:30～13:00	くすのきセンター	フォーラム最終確認		6人
	⑨3月8日18:00～20:00	くすのきセンター	研修後報告・評価　支部集会企画　次年度計画		6人
地区支部活動計画	年齢や疾患・障害等に関わりなく、その人らしい生活を、なじみの暮らしの場で、可能な限り続けられる地域を目指して、第5地区支部の様々な職場で働く看護職の連携を強化する。 ・様々な場で活躍する看護職等のネットワークを図り、地区支部活動の充実を図る。 ・看護連携ネットワークの連携により、支部内の地域看護力向上を推進する。				

目　標		事業	事業の詳細			参加者数(予定)
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点1 看護の質向上のための看護実践能力の強化	第５地区支部集会	日時：令和4年6月29日（水） 14：00～17：00 会場：くすのきセンター3階研修室	令和3年度事業報告 令和4年度事業計画 新・旧役員紹介等と業務引継ぎ		（14人） 12人
		出前講座	日時：令和4年9月15日～10月14日　（1ヶ月） オンライン研修　テーマ：「がん治療の最前線」 ①知っておきたい最新のがん薬物治療 ②がん治療期の実際に役立つケア 講師：木下千恵美先生（彦根市立病院・化学療法看護認定看護師）			３０名
	重点2 看護機能強化・連携強化による地域看護力の向上	事業	日　時	場　所	テーマおよび内容	参加者数(予定)
		全世代型 地域包括ケアフォーラム	令和5年2月4日 （土）	くすのきセンター	「多職種連携におけるコロナ禍での『連携』や『困難』について 発表者6名	２３名
		まちの保健室	中止		動画作成 （手洗い、手指消毒、マスクの付け方）	
		診療所・介護施設等で働く 看護職のつどい	令和5年1月19日 （木） 13:30～15:30	くすのきセンター	「コロナ禍での在宅や施設 での看取り」 発表者4名	１７名
	重点3 看護職等の確保・定着促進と労働環境の改善・充実	事業	日　時	場　所	テーマおよび内容	参加者数(予定)
		リフレッシュ研修	令和4年10月30日 （土） 14：00～16：00 中止	くすのきセンター	腰痛・肩こり スッキリ解消　ヨガ	中止
	重点4 組織力強化	事業	日　時	場　所	テーマおよび内容	参加者数(予定)
		診療所・介護施設等で働く 看護職のつどい	令和5年1月19日 （木） 13:30～15:30	くすのきセンター	看護協会の活動紹介 と協会加入について	１７名
	その他の機関からの依頼事業等の活動（経費不要）	事業	日　時	場　所	テーマおよび内容	
		湖東圏域地域 医療構想調整会議	令和５年３月	書面会議	①湖東圏域医療構想推計値 ②2025年に向けた目標病床数③外来機能報告	
		湖東認知症疾患 医療連携協議会	令和５年３月	書面会議	①令和３年度・４年度の実績報告　②意見提出 ③資料に質問の回答記載あり	
		彦根市男女共同参画審議会	令和4年7月27日	彦根市役所	ひこねかがやきプランⅡ進捗・事業実績報告 プランⅢ説明	
			令和5年2月13日	オンライン会議	彦根市役所の取り組み紹介 ひこねかがやきプランⅢの重点取り組みについて説明	
		彦根市男女共同参画推進事業者 選考委員会			内規・基準の説明　事業者の活動報告	
		第79回国民スポーツ大会・第24回 全国障害者スポーツ大会準備委員会	彦根市 令和4年8月4日 愛荘町 令和5年3月15日	文化プラザ 愛荘町立ﾊｰﾃｨｾﾝﾀｰ秦荘	実行委員会　総会 設立総会	
		地域看護ネット	令和4年7月6日	くすのきセンター	事業計画　認定看護師・専門看護師一覧について 看護ネット報告会　看看連携の実態把握意見交換	
			令和4年10月31日	くすのきセンター	看護ネット報告会の報告　感染対策（コロナ）状況の共有 第５地区支部全世代型地域包括推進ケアフォーラムについて	
			令和5年2月17日	くすのきセンター	認定看護師・専門看護師一覧の更新　ﾌｫｰﾗﾑの報告 今年度の取り組み経過・まとめと次年度の計画	
		「認知症あったかフォーラム」	令和4年12月4日	ひこね文化プラザ	後援	

令和４年度　第6地区支部活動　活動報告

支部長名	脇坂直隆	支部会員数	令和5年3月5日現在	1,255人
役員会 （第３月曜日）	会議回数８回　13時～15時 ~~4/18~~　5/16　6/30　7/11　9/12　11/21　1/16　2/21　3/20		主たる会場 セフィロト病院　会議室	役員数　5名
地区支部 活動方針	・地域包括ケアを支える看護職の連携を強化し、地域の看護力向上を目指す。 ・湖北圏域看護職連携会議や地域看護ネットワーク推進会議と協賛し、地域のあらゆる場で働く看護職が参加できる研修等の企画や参加を行い、看護協会の活動を広げていく。			

目標		事業名	事業詳細			
			日時	場所	テーマおよび内容	参加者
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点１ 看護の質向上のための看護実践能力の強化	第６地区支部集会	7月9日	滋賀県立看護専門学校	・令和３年度活動報告 ・令和４年度活動計画 ・新役員紹介	湖北圏域看護職 会場４１名 ZOOM８回線
		感染対応研修 （看護ネットと共催）	11月18日	長浜赤十字病院	テーマ：新型コロナウイルス感染症との奮闘記～感染症対策から学んだこと～ シンポジスト：病院、保健所、高齢者施設、訪問看護ステーションなど	１３７名
		看護管理者研修 （看護ネットと共催）	3月17日	長浜赤十字病院	地域で活躍できる看護職を育成するため、他施設訪問を通して、自部署の機能を知り、自部署の課題等について意見交換を行う。	２４名
	重点2 看護機能強化・看護職連携強化による地域看護力の向上		日時	場所	テーマおよび内容	参加者
		湖北圏域 看護職連携会議 （第３月奇数月）	~~7月11日~~ 9月12日 3月20日	長浜赤十字病院 会議室	それぞれの機関で看護職がどのような活動を実践しているのか情報交換や問題提起し、相互理解し、事例検討を通じて、相互の連携における現状や課題の検討 事例検討会運営の打ち合わせ	湖北圏域看護職連携会議メンバー（看護師・行政・支部役員・職能Ⅰ 職能Ⅱ健康福祉事務局参加）
			5月16日 11月21日 1月16日	市立長浜病院		
		湖北圏域 看護職研修会 （事例検討会／研修会）	9月12日 15：30～17：30	第１回事例検討会 長浜赤十字病院	第1回　事例提供 ・湖北病院　・セフィロト病院	延期
			11月21日 15：30～17:30	市立長浜病院	日本看取り士会　看取りステーション滋賀　西河美智子先生 テーマ「豊かであたたかい死とは～多死時代に希望を繋ぐ地域看取り士の役割～	６４名
			1月16日 16：30～17：30	第２回事例検討会 市立長浜病院	第1回　事例提供 ・湖北病院　・セフィロト病院	４３名
		地域看護ネットワーク推進会議 （第３金曜日・奇数月）	日時	場所	テーマおよび内容	参加者予定
			5月20日 7月15日 9月16日 11月18日 3月17日	長浜赤十字病院	情報交換・圏域で働く看護職員の実践力向上のための研修企画・現状課題の情報共有の場の打ち合わせ 地域の看護力向上のためのリソース活用の体制構築	4病院看護部長・統括保健師・地区支部長・学校長・訪問看護ステーション支部長・介護老人保健　福祉施設看護職代表者
		湖北圏域 看護職ネットワーク ・合同研修	11月18日	長浜赤十字病院	テーマ：新型コロナウイルス感染症との奮闘記～感染症対策対策から学んだこと～ シンポジスト：病院、保健所、高齢者施設、訪問看護ステーションなど	１３７名
			3月17日	看護管理者研修	地域で活躍できる看護職を育成するため、他施設訪問を通して、自部署の機能を知り、自部署の課題等について意見交換を行う。	２４名
		出前講座	7月22日 13：30～15：00	長浜西部福祉ステーション	テーマ：転倒防止体操 講師　セフィロト病院　作業療法士　川島　健　先生	中止
			10月28日　13：30～15：00	長浜西部福祉ステーション	講師：市立長浜病院 認知症看護認定看護師 山本理恵先生 テーマ：「フレイルを予防して、介護予防につなげよう！」	19名(地域住民)
			11月21日 15：30～17：30	場所：市立長浜病院	日本看取り士会　看取りステーション滋賀　西河美智子先生 テーマ：「豊かであたたかい死とは～多死時代に希望を繋ぐ地域看取り士の役割～	６４名
	重点３ 看護職等の確保・定着促進と労働環境の改善・充実		日時	場所	テーマおよび内容	参加者予定
		看護職に元気を届ける	7月9日 13:30～15:00	滋賀県立看護専門学校	テーマ：みんな奇跡のいのち ～虹の種に感謝とエールを込めて～ 講師：林　ともこ　先生	会場４５名 ZOOM８回線
	重点４ 組織力強化		日時	場所	テーマおよび内容	参加者予定
		まちの保健室	2月21日	長浜西部福祉ステーション	・感染症予防について ・手洗い実習	14名参加 （地域住民）
		看護の日行事	5月12日前後	各施設で実施	・各施設で企画し実施する	外来患者・家族など
	その他の機関からの依頼事業等の活動（経費不要）	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会	8月29日 14:40～15:30	長浜文化芸術会館	第７９回国民スポーツ大会・第２４回全国障害者スポーツ大会委員	支部長
			4月20日	なし	第１回宿泊衛生専門委員会　書面決議	
		地域医療支援事業運営委員会 長浜日赤	9月15日	なし	書面での報告	支部長
		湖北圏域医療構想調整会議	9月1日 18:00～20:00 12月8日 18:00～19:30 3月2日 18:30～20:00	湖北健康福祉事務所（長浜保健所）	湖北圏域地域医療構想について	支部長

令和4年度　第７地区支部活動報告

支部長名	藤本　栄江	支部会員数	R5年　3月　5日現在	298名
役員会	会議回数　14回 R4.6/30･7/11･8/17･8/26･9/14 9/20･10/7･10/13･10/28･11/7 12/6 ･R5.2/21･ 3/4･4/14	<主たる会場> 高島市民病院	役員数　　4名	
地区支部活動方針	地域の中で働く看護職が協働して看護実践能力を強化できる関係を構築する。			
	保健、医療、福祉など様々な分野で働く看護職の看護実践を知ることで、看護の視野を広げる。			

目標		事業名	事業の詳細
滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業	重点１ 看護の質向上のための看護実践能力の強化	集会	令和4年6月24日（金）17時30分～18時00分　　45名 内容：R3年度地区支部活動報告･R4年度活動計画、新旧役員挨拶
		事例検討会 （湖西圏域入退院支援ルール評価検討事業）	日時：令和4年9月14日（水）･20日（火）　17時～18時30分 会場：高島市民病院　健診棟3階　大会議室を主会場にZOOM研修 テーマおよび内容：「 多重･複合する問題を抱えた患者の退院支援を考える」 9/14 ①事例1「複合的な問題を抱えた患者の退院支援」　参加者60名 発表者：高島市地域包括課　橋本　理恵 氏　高島市民病院地域連携室　岡田　侑子 氏 9/20 ②事例2「家や身寄りのない患者の退院支援の課題」　参加者58名 発表者：今津病院地域連携室　竹本　正樹　氏　高島市地域包括課　橋本　理恵　氏
		看護研究発表 看護活動報告会	日時：令和5年3月4日（土）9：30～12：00　参加者64名　ハイブリッド 会場：高島市民病院･今津病院･マキノ病院･高島市役所･その他個人 演題1　「高島市における糖尿病性腎症重症化予防の取り組み」 高島市役所　健康福祉部　健康推進課　多胡　章子　氏 演題2　「回復期リハビリテーション病棟における退院支援の一考察」～施設を拒み自宅退院を希望された高齢者家族への退院支援～　今津病院回復期リハビリテーション病棟　小野　優子　氏 演題3　「湖西圏域腰痛改善事業の取組み」　高島健康福祉事務所　高木久美子　氏 演題4　「精神科訪問看護における電話相談の一考察」　夢の木訪問看護ステーション　堀出　俊子　氏 演題5　「がん患者との意図的なコミュニケーション方法を試みて」～人工肛門造設とがん宣告を受けた患者の本音を聞き出すプロセス～　高島市民病院　北野　真由　氏 演題6　「病棟から訪問看護へ異動した看護師を受け入れて学んだこと」あいりん訪問看護ステーション　筒井佳那子　氏 演題7　「訪問看護ステーションと小規模多機能型居宅介護事業所が連携した在宅看取りへの取り組み」～介護職員への終末期、看取りについての調査を通じて～マキノ病院訪問看護ステーション　幸田ひろみ　氏 演題8　「慢性疾患を持つ患者の不安と葛藤」～行動変容に向けた一事例～　高島市民病院　久保田愛海　氏 講評：京都光華女子大学　健康科学部　看護学科　准教授　窪内　敏子　先生

重点2 看護機能強化・看護職連携強化による地域看護力の向上	事業名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者予定
	地域包括ケアフォーラム（看護ネット共催）	令和4年11月12日(土) 13時30分～16時	安曇川公民館 ふじのきホール	「災害対策の取り組み」 個別避難計画について BCPの取り組み 講師：梅村　淳　氏･林　辰弥　氏	55名
	まちの保健室	①令和4年9月24日（土） ②通年	①やすらぎ荘 ②市内６地域	①新旭ふくしまつり2022 ②地域サロン等	①90名 ②20名程度
	出前講座	①令和4年7月7日（木） 15時30分～16時30分 ②令和4年7月20日（水） 9時30分～11時	①角川ヴィラ ②高島市公民館	①「夏場に発生しやすい皮膚感染症と対策について」 講師：土肥しのぶ　氏 ②「すこやか健康講座」 講師：中村　真弓　氏	①37名 ②16名

重点3 看護職等の確保・定着促進と労働環境の改善・充実					
	研修会（地域医療連携法人共催）	令和4年7月8日（金） 17時～19時	高島市民病院 ハイブリッド	アンガーマネジメント 講師：知田　良博氏	58名
	新人リフレッシュ研修会	令和4年10月7日（金） 16時15分～17時15分	高島市観光物産プラザ	「災害看護」高島市民病院 災害支援ナース　小林　由佳　氏	13名
	卒後3年目座談会	令和4年10月28日（金） 17時～19時	高島市観光物産プラザ	部署紹介、3年目の自己紹介 悩みごとなど	10名

重点4 組織力強化				
湖西圏域看護ネット　年4回	①R4年9月1日（木） 15時15分～16時15分	安曇川公民館 ふじのきホール	地域包括ケアシステム構築に向けたあらゆる看護職との連携強化	各施設代表者
	②R4年10月6日（木） 15時15分～16時15分	安曇川公民館 ふじのきホール	アンケート結果 ニュースレターについて	
	③R4年11月9日（水） 15時15分～16時15分	安曇川公民館 ふじのきホール	合同研修会について 専門性のある看護師講師派遣について、ニュースレターについて	
	④R4年12月1日（木） 15時15分～16時16分	安曇川公民館 ふじのきホール	ニュースレター インタビューについて	

その他の機関からの依頼事業等の活動（経費不要）	会議名	日時	場所	テーマおよび内容	参加者
	高島市医療連携ネットワーク運営協議会	毎月第1木曜日	安曇川ふれあいセンター	医療連携実績報告 各関係機関からの話題提供	支部長 各施設
	スポーツ大会高島市準備委員会	令和4年7月14日（木） 令和4年8月17日（水）	高島市役所	国民スポーツ大会、障がい者スポーツ大会に向けた準備	支部長
	自衛隊フェスタ 50･70	令和4年8月7日（日）	高島総合運動公園	自衛隊記念行事の救護	第7地区支部 役員2名、会員3名

継続教育に関する事業報告

1. 生涯教育

領域			レベル	開催日	研修名・講師（敬称略）	受講条件	受講料（税込）	期間定員	申込者	受講決定者	受講（修了）者	内、非会員	レベル別受講者数 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	准看	マネⅠ	マネⅡ	マネⅢ	マネⅣ	助新人	助Ⅰ	助Ⅱ	助Ⅲ	助Ⅳ	保A1	保A2	保A3	保A4	保A5
分類Ⅰ ラダーと連動した継続教育																																
	ニーズをとらえる力		Ⅰ・Ⅱ	11/25（金） 11/26（土） 共通 9:20～16:30	明日から活かせるフィジカルアセスメント ～ニーズをとらえる力を伸ばそう～ 滋賀医科大学医学部附属病院　吉田　和寛 他 演習支援講師	過去に同じ研修を受講していない者	会　員：3,300円 非会員：8,250円	各1日各40名	56	48	42	2	24	17	1																
									41	49	48	2	33	12	3																	
			Ⅰ～Ⅲ	8/10（水） 9:20～16:30	看護過程をもう一度学ぼう！ 滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター　小野　幸子	助産師 看護師	会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	41	39	35	4	17	11	6	1															
			Ⅲ～Ⅴ	11/8（火） 11/9（水） 共通 9:20～16:30	急変を見逃さないフィジカルアセスメント 滋賀医科大学　藤野　光洋 市立大津市民病院　森　俊之		会　員：3,300円 非会員：8,250円	各1日各60名	55	55	50	8	2	5	32	10	1														
									45	45	42	3		11	25	3			2		1										
			Ⅲ～Ⅴ	9/10（土） 9:20～16:30	看護実践が見える看護記録 ～看護記録の質向上を目指す～ 公益社団法人 日本看護協会 神戸研修センター　市村　尚子		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	66	66	62	3	2	4	30	16	4		3	1						2					
	ケアする力	看護実践能力	Ⅰ・Ⅱ	9/5（月） 9:20～16:30	安全なケアを提供するためにⅠ ～ルールを守って患者の安全を守る実践者になろう～ 大津赤十字病院　平野　千穂美		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	40	40	37	3	16	19	1			1													
			Ⅰ・Ⅱ	9/21（水） 9:20～16:30	口腔機能を学ぼう ～安全に食べられる口づくり～ 済生会守山市民病院　松永　哲人 京都市立京北病院　上岡　有里		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日40名	41	41	40	3	16	16	6		1	1													
			Ⅱ～Ⅳ	10/18（火） 9:20～16:30	慢性心不全患者の 生活調整に向けた看護 市立大津市民病院　木股　正樹 市立長浜病院　杉村　隆幸 訪問看護ステーションなかさと　中垣　愛		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	49	49	49	3	3	15	18	8	3	1	1												
			Ⅲ・Ⅳ	9/26（月） 9:20～16:30	安全なケアを提供するためにⅡ ～自部署で取り組むリスクマネジメント～ 彦根市立病院　佐伯　公亮		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	54	54	52	0		4	19	23	2		4												
			Ⅲ～Ⅴ	10/26（水）	摂食機能の改善を目指して！ ～誤嚥を予防し安全に食べられるケアを学ぶ～ 済生会守山市民病院　松永　哲人 京都市立京北病院　上岡　有里		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日40名	42	42	39	0		8	21	7	3														
		協働する力	Ⅰ・Ⅱ	8/22(月) 13:20～16:30	一人の力をチームのために ～チームメンバーとしての役割を発揮するために～ 滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター　多川　晴美		会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日60名	60	60	58	4	29	27	1									1							
			Ⅰ～Ⅲ	7/8（金） 9:20～16:30	コミュニケーションスキルを習得しよう！ ～相手の思いを引き出し、 大切な自分の思いを伝えるために～ 医療コミュニケーション・センター (有)グレードアップラボ　柴村　馨		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	61	61	60	12	22	22	14	2															
			Ⅱ・Ⅲ	10／3（月） 9:20～16:30	地域包括ケア時代の継続看護Ⅰ ～在宅療養を見据えた退院支援～ 滋賀県健康医療福祉部　久保　亜紀 滋賀県済生会訪問看護ステーション　石原　仁		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	72	72	71	5	1	29	32	5	2				1										1
			Ⅲ・Ⅳ	10/13（木） 9:20～16:30	中心的立場で活躍するための リーダーシップ　オンライン研修 愛媛大学医学部附属病院　内藤　知佐子		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日80名	80	80	75	3		8	41	21	1		2						1	1					
			Ⅲ～Ⅴ	8/30（火） 9:20～16:30	ファシリテーションスキルを学ぼう！（基礎編） ひとづくり工房esuco　浦山　絵里		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日40名	68	68	62	1		3	25	26	5		3												
			Ⅳ・Ⅴ	8/31（水） 9:20～16:30	ファシリテーションスキルを学ぼう！（応用編） ひとづくり工房esuco　浦山　絵里	前年度までに基礎編を受講済の者	会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日40名	18	18	15	0		2	2	9	1			1											
			Ⅳ・Ⅴ	11/1（火） 9:20～16:30	地域包括ケア時代の継続看護Ⅱ ～在宅療養を見据えた連携と協働～ 滋賀医科大学医学部附属病院 患者支援センター　望月 美記代 訪問看護ステーションさと　水口　駒井　和子 甲賀市社会福祉協議会 ケアプランセンターしがらき　松宮 尚美		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	52	46	42	3		1	10	20	7		1	1	1	1										
			Ⅳ・Ⅴ	11/30（水） 9:20～16:30	多職種間連携で力を発揮するための 調整方法を学ぼう 彦根市立病院　北川　智美 彦根市立病院　小川　多恵子		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	44	44	38	3			7	21	6		3	1											
		意思決定を支える力	Ⅰ・Ⅱ	11/7（月） 9:20～16:30	看護倫理 ～日々の看護場面における 倫理的ジレンマについて考えてみよう～ 京都橘大学　梶谷　佳子		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	65	65	60	2	23	31	6																
			Ⅲ	8/26（金） 9:20～16:30	看護倫理 ～意思決定支援における倫理的問題を解決するために～ 滋賀県立大学　糸島　陽子		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	73	73	67	5	2	10	44	8	2										1				
			Ⅲ～Ⅴ	10/21（金） 9:20～16:30	意思決定プロセス支援と アドバンスケアプランニングの重要性 滋賀県立総合病院　犬塚　康孝 市立大津市民病院　杉江　礼子 他　演習支援講師		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日40名	77	64	62	4		4	29	20	8	1													
			Ⅳ・Ⅴ	10/27（木） 9:20～16:30	看護倫理 ～モヤモヤと苦手をCLEARしてチームで前進！～ 淡海医療センター　三田村　七福子		会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日60名	33	32	29	4			5	18	3		3												

領域		レベル	開催日	研修名・講師(敬称略)	受講条件	受講料(税込)	期間定員	申込者	受講決定者	受講(修了)者	内、非会員	レベル別受講者数																		
												Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	准看	マネⅠ	マネⅡ	マネⅢ	マネⅣ	助新人	助Ⅰ	助Ⅱ	助Ⅲ	助Ⅳ	保A1	保A2	保A3	保A4	保A5
分類Ⅰ ラダーと連動した継続教育	組織的役割遂行能力	Ⅰ・Ⅱ	7/15(金) 9:20～16:30	看護職として成長するために ～社会人基礎力を育もう～ 聖マリアンナ医科大学　高橋 恵		会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 60名	35	35	34	7	14	19	1																
		Ⅰ～Ⅲ	8/6(土) 13:20～16:30	今さら聞けない感染対策 公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校　筒井 俊博		会 員:2,200円 非会員:5,500円	半日 50名	73	73	67	7	10	29	19	5	1	1	1					1								
		Ⅱ・Ⅲ	6/10(金) 6/11(土) 6/22(水) 共通 9:20～12:30	オンライン研修 プリセプター(実地指導者)研修 ～新人と共に成長する指導者を目指して～ 愛媛大学医学部附属病院　内藤 知佐子	現在プリセプターの任にある者	会 員:2,200円 非会員:5,500円	各半日 各 60名	92	92	91	12	5	43	36	7																
								55	53	53	5	2	26	22	3															
								71	71	69	5	3	40	21	2					1			2							
		Ⅱ～Ⅳ	11/28(月) 9:20～16:30	災害時の看護を考える 藍野大学　西上 あゆみ		会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 60名	60	60	49	7		10	20	12	2	1	2					1	1							
		Ⅱ～Ⅴ	7/25(月) 9:20～16:30	＜実習指導者研修＞ 実習指導のいろは ～学生と共に成長し、やりがいを感じられる実習指導～ 市立長浜病院　山田 みか	実習指導者講習会の未受講者で、現在実習指導に関わっている者または、今後関わる予定にある者	会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 60名	50	50	46	4	2	8	20	14			1	1												
		Ⅳ・Ⅴ	10/28(金) 13:20～16:30	教えることは学ぶこと ～共に成長する看護職を育成する～ 滋賀医科大学医学部附属病院　加賀 有未		会 員:2,200円 非会員:5,500円	半日 60名	63	63	59	1			11	35	7		5	1												
		Ⅳ・Ⅴ	9/2(金) 9:20～16:30	医療安全管理研修会・交流会 事例から学ぶ看護職の法的責任 荒井東京法律事務所　荒井 俊行	医療安全管理者および医療安全管理者養成研修修了者/看護管理者/リスクマネージャー	会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 30名	30	30	26	1				6	5		3	11	1											
	自己教育・研究能力	Ⅰ～Ⅴ	10/7(金) 9:20～16:30	臨床瞑想法～心と身体を回復しよう～ 飛騨千光寺　大下 大圓		会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 40名	38	38	34	2	3	7	4	15	5															
		Ⅰ～Ⅴ	8/3(水) 13:50～16:00	看護研究をやってみよう！相談会 聖泉大学　間 文彦	看護研究に着手している看護職	無料	40名	15	15	12	3	1	3	2	3	2			1												
		Ⅱ・Ⅲ	6/20(月) 9:20～16:30	看護研究に取り組もう ～看護研究のプロセスを理解しよう～ 滋賀医科大学　立岡 弓子		会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 60名	54	54	49	2	1	20	10	15	2		1													
		Ⅲ～Ⅴ	6/29(水) 7/20(水) 7/27(水) 8/4(木) 共通 9:30～16:30	看護研究サポートリーダー育成研修 (滋賀県立大学との共同開催)	①過去に看護研究について基礎的な研修を受講した者 ②今までに施設内の看護研修を主として取り組んだことがある者 ③所属長の推薦が得られる者 ④ワード、エクセル(グラフの作成)の操作ができる者	会員:13,200円 非会員:33,000円	30名	9	8	8	0				6			2													
	助産師	看護師ラダⅣ～Ⅰ	10/1(土) 9:20～12:30	事例から学ぶ！胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断の対応 滋賀医科大学　喜多 伸幸	看護師は産科領域に関わらず受講可	会 員:2,200円 非会員:5,500円	半日 40名	31	31	28	4	4	1	3	3							7	6	1	2	1					
			8/17(水) 9:20～16:30	新生児の病態生理と異常の対応を事例を通して学ぼう 滋賀医科大学　柳 貴英 近江八幡市立総合医療センター　栗原 通子		無料	1日 40名	42	42	41	8	5	4	4	3							7	8	3	5	2					
	保健師	保健師A-1	11/14(月) 2023年1/20(金)	新任期保健師研修「地区把握・地域診断」		無料		13	13	12	8																			
		保健師A-2 A-3	9/8(木)	移行期保健師研修 (事例検討会ファシリテーター養成研修)		無料		25	25	22	16																			
		保健師A-3 A-4	8/6(土)～2023年3/8(水)	保健師コンサルテーション研修		無料		7	7	7	4																			
		保健師A-3 A-4 A-5	2023年2/1(水)	保健師コンサルテーション研修 フォローアップ研修 および 統括保健師研修		無料		25	25	22	9																			
	看護管理者	マネジメントラダーⅠ	7/22(金) 9:20～16:30	キャリアマネジメントのための基礎知識 ～スタッフのキャリア開発支援について考える～ 滋賀医科大学医学部附属病院　加賀 有未	主任級や、今後主任等の中間管理職になることを期待されている看護職を対象	会 員:3,300円 非会員:8,250円	1日 50名	39	39	34	2			2	4	7		16	5												
		マネジメントラダーⅠ・Ⅱ	7/7(木) 11/29(火) 共通 9:20～16:30	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	滋賀県内病院の看護管理者	会 員:3,300円 非会員:8,250円	各1日 各 60名	114	114	114	3			9	8	28		30	28	9	2										
								80	80	68	6	1			2	5		36	17	7										
		マネジメントラダーⅠ・Ⅱ	6/10(金) ～7/29(金)	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	1)日本国の看護師免許を有する者 2)看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 3)管理の業務に関心がある者	会員:99,000円 非会員:247,500円 修了審査料:20,000円(一律) ※教科目レポート再審査料:1科目5,000円(審査不合格の場合)	50名	65	62	61	0																				
		マネジメントラダーⅠ・Ⅱ	6/16(木) 13:20～16:30	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 公開講座Ⅰ 資源管理Ⅰ　経営資源と管理の基礎知識 公益社団法人滋賀県看護協会　廣原 惠子 在宅ケアセンターみのり　日永 めぐみ	現在看護管理に携わっている者または、今後携わる予定にある者	会 員:2,200円 非会員:5,500円	半日 30名	15	15	14	0				6	1		4	2	1											
		マネジメントラダーⅠ・Ⅱ	7/6(水) 13:20～16:30	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 公開講座Ⅱ 人材管理Ⅰ　労務管理の基礎知識 加藤看護師社労士事務所　加藤 明子	現在看護管理に携わっている者または、今後携わる予定にある者	会 員:2,200円 非会員:5,500円	半日 30名	13	13	13	0				3	1		4	4	1											
		マネジメントラダーⅡ	8/5(金) 9:20～16:30	地域における自施設の機能を知り、自部署の課題を発見しよう　～他施設訪問を通して～ 山梨大学大学院　小林 美亜	看護師長級や今後中間管理職になることを期待されている者	無料	1日 40名	18	18	16	0				2	5			7	2											

領域		レベル	開催日	研修名・講師（敬称略）	受講条件	受講料（税込）	期間定員	申込者	受講決定者	受講（修了）者	内、非会員	レベル別受講者数 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	准看	マネⅠ	マネⅡ	マネⅢ	マネⅣ	助新人	助Ⅰ	助Ⅱ	助Ⅲ	助Ⅳ	保A1	保A2	保A3	保A4	保A5
分類Ⅰ ラダーと連動した継続教育	看護管理者	マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	11/2（水）～12/23（金）	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	1）日本国の看護師免許を有する者 2）看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 3）認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者	会　員：203,500円 非会員：508,750円 修了審査料：25,000円（一律） ※教科目レポート再審査料：1科目5,000円（審査不合格の場合）	40名	26	26	26	0																			
		マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	11/25（金） 9:20～16:30	認定看護管理者教育課程セカンドレベル 公開講座Ⅰ 組織管理論Ⅱ　組織マネジメントの実際 日本赤十字豊田看護大学　松浦　正子	現在看護管理に携わっている者または、今後携わる予定にある者	会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日 30名	17	17	14	0								10	3	1										
		マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	12/21（水） 13:20～16:30	認定看護管理者教育課程セカンドレベル 公開講座Ⅱ 質管理Ⅱ　安全管理教育・法令遵守 公益社団法人 日本看護協会　橋本　美穂	現在看護管理に携わっている者または、今後携わる予定にある者	会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 30名	14	14	11	0				1	2		1	3	4										
		マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	6/21（火） 9:20～12:30	新興感染症に対応する看護管理力強化！ 大阪府済生会茨木病院　山中　寛惠		会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 50名	30	30	26	0			2	3	2		5	10	2	2									
		マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	12/26（月） 9:20～16:30	みんなで考えよう災害 その時、あなたは指揮できますか 長岡崇徳大学　山﨑　達枝	師長級や、今後中間管理職になることを期待される者	無料	1日 40名	34	34	27	3	1	1	1	4	4		5	7	4										
		マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	演習日 12/9（金） オンデマンド35時間 ＋ 演習5時間 9:50～16:00	医療安全管理者養成研修 ＜医療安全対策加算対応＞ 彦根市立病院　佐伯　公亮 社会福祉法人しみんふくし滋賀 小規模多機能型居宅介護事業所　材久さん　乾　悦子	1)医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者 2)上司の推薦があること 3)2022年度に開催する研修プログラムを全時間受講可能なこと 上記要件のほか、看護師長 に 相当する職位 以上にあることが望ましい	会　員：30,800円 非会員：46,200円	1日 40名	40	40	37	2																			
		マネジメントラダーⅡ～Ⅳ	6/6（月） 13:20～16:30	特定行為研修制度と法改正後の 看護職の活躍の現状と今後 近畿厚生局　小野　恭子 滋賀医科大学医学部附属病院　中井　智子 市立長浜病院　小尾野　恵実	看護管理者他、特定行為研修制度に興味のある者	無料	半日 50名	31	31	29	0		1	2	3	4		3	9	3	4									
		マネジメントラダーⅢ・Ⅳ	9/12（月） 9:20～12:30	看護管理者のスタッフ看護師への エンパワリング行動 ～個人や組織のパフォーマンスを高める取り組み～ 東京医科歯科大学大学院　佐々木　美樹	副看護部長を目指す者、現在看護管理に携わる者	会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 60名	29	29	24	0				1	5		1	12	3	2									
		マネジメントラダーⅢ・Ⅳ	12/9（金） 9:20～12:30	看護管理者に必要な医療経済の基礎の基礎 ～医療制度・政策も学んで看護の質向上のための提案を目指そう～ 山口大学　角田　由佳	看護管理者・副看護部長もしくは、今後その職位を目指している者	会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 60名	24	23	21	0				3	1		2	7	5	3									
分類Ⅱ 社会のニーズに対応する実践力向上のための継続教育	全看護職		8/2（火） 13:20～16:30	がん患者の看護～治療と社会生活への支援～ ピースホームケアクリニック　徳谷　理恵		会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 50名	51	51	48	5	3	14	16	11	3	1														
			9/28（水） 9:20～12:30	脳卒中患者の看護～治療と社会生活への支援～ 大津赤十字病院　松井　大 大津赤十字病院　日下部　桐子		会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 60名	53	53	46	5	3	11	18	11	1	1		1												
			10/19（水） 10/20（木） 9:20～16:30	【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 （演習支援） 公立甲賀病院　植野　勉 淡海医療センター　小川　千聡		会　員：6,270円 非会員：9,460円	2日間 60名	72	72	68	11	1	22	17	17	4	1	4	2												
			9/6（火） 13:20～16:30	子ども虐待を見逃さないために ～コロナ禍での虐待防止対応をとおして～ 特定非営利活動法人MCサポートセンター　みっくみえ 松岡　典子		会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 50名	13	13	13	1		5	5	1				1			1									
			12/7（水） 13:20～16:30	糖尿病とともに生きる患者の生活の質 ～患者の意向を尊重した看護～ 淡海医療センター　関根　理 市立大津市民病院　山下　亜希		会　員：2,200円 非会員：5,500円	半日 50名	44	44	38	5	8	12	11	4	2							1								
			2023年 3/18（土） 13:20～16:00	医療的ケア児と家族の暮らしを地域で支える ～多職種の連携と私にできること～ 京都橘大学　奈良間　美保	訪問看護ステーション・医療機関・保育園・学校・通所支援施設・市町障害福祉関係課・母子保健領域で活躍する看護職、テーマや内容に興味関心がある看護職等	無料	半日 60名	37	37	35	23																				
	准看護師		9/20（火） 13:20～16:30	准看護師のキャリアアップを考える ～准看護師の進学における看護教育課程・交流会～ 大阪保健福祉専門学校　柳田　朋子 大阪保健福祉専門学校　永倉　栄一 ぴわこ学園重症心身障害者通所施設かなえ　林 由香	准看護師	無料	半日 30名	3	3	2	1						2														
			10/12（水） 9:20～16:30	准看護師研修 フィジカルアセスメントを学ぼう 株式会社T-ICU　森口　真吾	准看護師	会　員：3,300円 非会員：8,250円	1日 30名	5	5	5	1						5														
分類Ⅲ 専門能力開発を支援する継続教育	実習指導者		8/18（木）～10/25（火）	実習指導者講習会（一般）	保健師・助産師・看護師・准看護師養成所又は学校の実習を受け入れる滋賀県内の施設で次の各号全てに該当する者 1)保健師・助産師・看護師として、実務経験年数5年以上を有する者 2)実習施設で実習指導者の任にある者、又は実習指導者となる予定の者 3)心身共に健康である者 4)研修期間中は研修に専念できる者 5)積極的に研修に取り組む意欲のある者	43,000円	約 55名	49	49	48	12																				
			8/18（木）～9/9（金） の間で約10日程度	実習指導者講習会（特定分野）		無料	約 10名	14	14	13	5																			
	実習指		2023年 1/13（金）	実習指導者講習会（特定分野含む） フォローアップ研修	令和3年度までの実習指導者講習会修了者（主催は問いません）で、現在も実習指導者として実習指導を担当している	無	60名	34	34	30	2																			

領域	レベル	開催日	研修名・講師（敬称略）	受講条件	受講料（税込）	期間定員	申込者	受講決定者	受講（修了）者	内、非会員	レベル別受講者数 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	准看	マネⅠ	マネⅡ	マネⅢ	マネⅣ	助新人	助Ⅰ	助Ⅱ	助Ⅲ	助Ⅳ	保A1	保A2	保A3	保A4	保A5
分類Ⅲ 専門能力開発を支援する継続教育	導者	9:20～16:30	京都教育大学　相澤　伸幸	指導を担っている者（令和3年度実習指導者講習会修了者はできる限り受講して下さい）	料																									
	教育担当者	10/26（水）～11/2（水）	**新人看護職員研修責任者研修** 滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター　小野　幸子 滋賀医科大学医学部附属病院　光岡　由紀子 ビジネスブレーン　永井　則子 京都教育大学　相澤　伸幸	施設の研修責任者としての役割を担っている者で、全ての研修日程に参加できる者	無料	4日間 30名	23	22	22	1																				
		10/6（木）～10/31（月）	一部オンライン研修 **新人看護職員研修教育担当者研修** 滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター　小野　幸子 京都教育大学　相澤　伸幸 愛媛大学医学部附属病院　内藤知佐子 滋賀県立総合病院　野田　智子	各部署で実施される新人看護職員研修の教育担当者またはその任になる予定の者で、全ての研修日程に参加できる者		4日間 50名	53	53	51	8																				
		2023年 1/17（火） 13:20～16:30	**新人看護職員研修** **研修責任者・教育担当者フォローアップ研修** 京都教育大学　相澤　雅文	新人看護職員研修研修 責任者・教育担当者 研修受講修了者 アドバイザーの派遣を受けた医療機関で勤務する研修責任者 等		半日 30名	37	36	31	0																				
	看護基礎教育 教員	12/27（火） 13:20～16:30	**地域・在宅で活躍できる次世代の看護職を育成する シンポジウム** 公益社団法人京都府看護協会　豊田　久美子	滋賀県内看護系大学・看護師等養成所教員/滋賀県内の訪問看護ステーション管理者・育成者等/滋賀県内の医療機関に勤務する看護管理者・指導的立場の看護職	無料	半日 90名	54	54	52	2																				
	災害支援ナース育成	7/4（月） 7/5（火） 9:20～16:30	**【JNA収録DVD研修】** **＜災害支援ナース育成研修＞（基礎編）** **災害支援ナースの第一歩** **～災害看護の基本的知識～**	実務年数3年以上で、災害看護・災害支援ナースに興味のある者	会　員：6,270円 非会員：9,460円	2日間 60名	32	32	31	2	2	6	8	13	2														
		9/8（木） 13:20～16:30 9/9（金） 9:20～16:30	**＜災害支援ナース育成研修＞** **災害看護（実務編）** 滋賀県防災危機管理局　藤田　喜世隆 藍野大学　西上　あゆみ	実務年数5年以上で、災害支援ナース育成研修（基礎編）を修了しており、災害支援ナースに登録する意思がある者、または災害支援ナースに興味がある者	会　員：5,500円 非会員：13,750円	1.5日 50名	22	22	19	0		3	10	4	1		1												
	入退院支援看護師	7/12（火）～11/15（火） 9:30～16:30	**入退院支援看護師養成研修** 在宅ケア移行支援研究所　宇都宮宏子オフィス 宇都宮　宏子　他	1.原則として全日程に参加可能であること 2.看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者 3.医療機関で在宅療養支援・退院支援を実施する立場にある者 4.訪問看護事業所・介護施設等地域で、在宅療養移行支援に携わる者 3・4についてはどちらか	会　員：16,500円 非会員：41,250円	実習含む 5日間 30名	30	29	24	1			8	8	2		4	1	1										
	訪問看護	10/28（金） 29（土） 30（日）	**精神科訪問看護基本研修会** **（精神科訪問看護基本療養費 算定要件研修会）**	滋賀県内の訪問看護ステーション等に勤務する職員　看護職・作業療法士等	会　員：11,550円 非会員：28,875円 看護職以外：23,100円	3日間 40名	35	35	35	9																			
	外来・診療所看護	8/4（木） 13:50～16:30	**病院の外来・診療所の看護に今求められていること** **～外来・診療所の強みを活かした看護実践～** 滋賀医科大学　津田　知子　他	診療所や外来部門・訪問看護・高齢者施設・障害者施設等多様な分野で働く看護職	無料	半日 50名	32	32	29	5	1	4	7	11	4		1		1										
	慢性期看護	2023年 2/7（火） 13:20～16:30	**慢性期・療養型病院　看護師長交流会**	県内慢性期・療養型病院に従事する看護師長（級）	無料	半日 50名	23	23	23	1			1	3	6		1	8	1	3									
	新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成	演習日 8/20（土） 9/17（土） 共通 9:20～16:30	**新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業** **重症患者対応研修** オンデマンド5時間 ＋ **演習6時間** 市立大津市民病院 医師・特定行為看護師・認定看護師・臨床工学士	集中治療室において重症患者への対応を行う可能性のある看護職員	無料	各1日 各 10名	7 7	7 7	7 7	1 0																			
	小児在宅移行支援指導者育成	演習日 2023年 1/18（水） 1/19（木） 9:20～16:30	**小児在宅移行支援指導者育成研修** 同行訪問1回以上+**演習12時間** 滋賀医科大学医学部附属病院　小嶋　志津香	NICU/GCU 等に入院する児の在宅移行支援において、指導者として在宅移行を推進するための役割を果たしている者または今後、役割を果たすことが期待されている者	会　員：15,730円 非会員：23,540円	2日間 20名	6	6	5	1		1	3		1														
	高齢者施設看護	6/24（金） 9/13（火） 10/5（水）	**介護施設等に勤務する看護職の** **看護実践力向上研修**	県内の介護施設等に勤務する看護職	無料	3日間 30名	56	56	44	34																			
その他 滋賀県委託・補助事業による研修	認知症看護	9/15（木） 9/16（金） 9/17（土）	**看護職員認知症対応力向上研修** 大津赤十字病院　松井　大 豊郷病院　木築　裕彦・堀尾　素子 友仁山崎病院　三上　千恵 JCHO滋賀病院　丹賀澤　康子 彦根市立病院　藤井　裕子 他　演習講師	・滋賀県内の医療機関で勤務する指導的役割の看護職員 ・自施設で認知症における研修を企画・運営する者またはその予定の者 ・3日間の研修すべて受講できる者	無料	3日間 60名	43	42	35	2																			
		12/1（木） 14:10～16:30	**医療従事者認知症対応力向上研修** **（外来・診療所看護師対象）** 草津ケアセンター　鈴木　孝世 豊郷病院　堀尾　素子	県内の診療所や病院の外来部門で勤務する看護職員		半日 50名	23	23	21	7																			
		11/17（木） 13:20～17:00	**病院医療従事者認知症対応力向上研修** 大津赤十字病院　松井　大 市立大津市民病院　和田　みどり 他　演習講師	滋賀県内病院の医師、看護師等の医療従事者		半日 50名	69	69	65	29																			
		2023年 2/2（木） 13:20～16:30	**看護職員認知症対応力向上研修** **フォローアップ研修**	令和4年度 滋賀県看護職員認知症対応力向上研修修了者		半日 60名	19	19	17	0																			
合　計							3556	3523	3263	372	260	549	671	470	164	16	155	152	52	18	14	20	7	10	4	0	0	0	0	1

１－２ 生涯教育研修評価

(表 1) 会員数　＊令和 5 年 3 月 5 日現在

	令和 4 年度	令和 3 年度
病院	7444	7472
医院	72	73
訪問看護ステーション	298	275
施設	119	115
学校	160	172
県機関・市町	265	261
その他(個人・他府県)	914	865
総計	9272	9237

(表 2) 受講者数

	令和 4 年度	令和 3 年度
病院	2884	2595
診療所	13	23
訪問看護ステーション	118	120
福祉施設	58	81
看護学校	32	23
行政	68	31
その他(個人・他府県)	90	86
総計	3263	2959

非会員受講者数　R4：372 名　R3：358 名

＊令和 4 年度 77 研修・令和 3 年度 76 研修（うち 3 研修中止）の受講者数を計上（表 2）

＊今年度も新型コロナウイルス感染状況はみられたが、研修の時間短縮・延期・中止には至らなかった。研修形態は「集合」として開催した。1 研修のみ講師が遠方によりオンライン研修とした。感染対策（受講者の体調確認、ソーシャルディスタンスの確保、開窓、開扉、換気、使用後の消毒 等）を実施した。昨年度同様、研修室収容上限人数の半分を定数として、原則 2 名用の机に前後左右交互に 1 名着席として、感染予防に向けて受講者が安心して研修に参加できるよう努めた。

１）施設別受講者数について（表 2）

全体的には、昨年度の受講者数 2,959 名に対し今年度 3,263 名であり、昨年度よりも約 300 名増加し、コロナ禍前の平成 30 年度の受講者数とほぼ同数まで回復した。

施設別にみると、病院の受講者数は令和 2 年度のコロナ禍以降、年々増加している。看護師養成機関や行政の受講者も増加した。新型コロナウイルス感染症への対処方法が見えない状況や対応に混乱を生じていた状況から感染対策が整備され、コロナ禍においても人材育成を継続するという意向が反映していると思われる。

一方、福祉施設の受講者数は、令和 2 年度 3 名と非常に少なく昨年度増加したが今年度再び減少した。診療所も昨年度よりも減少した。これらの施設は施設内の従事者数が少ないためコロナ対応に追われ研修参加困難の状況が考えられる。

今年度の受講者数 3,263 名のうち非会員の受講者は 372 名あり、11.4%を占めた。

昨年度は受講者数 2,959 名のうち非会員の受講者は 358 名あり、12.9%を占めた。

当協会では非会員の受講料は会員の 2.5 倍に規定されている。非会員の方にも当協会の研修に参加してもらい、会員入会に繋がることを期待する。

２）受講者アンケート結果について

全生涯教育研修において、「理解の程度」は、5 段階中（理解の程度が高いほど高得点)、いずれ

の研修も 4.0 以上、「実践への応用」も、5 段階中（理解の程度が高いほど高得点）、いずれの研修も 4.0 以上あった。（4.1～4.8）研修目標はおおむね達成し、研修後の感想もほぼ肯定的な内容であった。

３）研修企画・運営・結果について

滋賀県看護協会の教育方針「看護職は、専門職業人としてあらゆる施設や場において人々の生命の尊厳と人権を守り、社会のニーズに対応した質の高い看護を提供する責務がある。継続教育の体系化を図り、看護職が自立的にキャリア発達できるよう支援する。また、関係機関等との有機的連携を強化し教育の機会を提供する。」を念頭に置き研修を企画した。

① 分類Ⅰ　ラダーと連動した継続教育

平成 28（2016）年度に公表された日本看護協会「看護師のクリニカルラダー 看護の核となる 4 つの実践能力」（「ニーズをとらえる力」「ケアする力」「協働する力」「意思決定を支える力」）と 5 段階の習熟指標、助産実践能力習熟段階、自治体保健師の標準的なキャリアラダー、令和元（2019）年度に示された病院看護管理者のマネジメントラダーを意識して研修を企画運営した。

クリニカルラダーに基づく研修は、看護の核となる 4 つの実践能力、組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力に視点を置く研修はじめ助産師や保健師向けの研修について、あらゆる研修分類やラダーレベルに応じて企画した。定員をほぼ満たしたが、満たさなかった研修については次年度に向けて見直しを行った。（「看護研究サポートリーダー育成研修」「看護職として成長するために～社会人基礎力を育もう～」「ファシリテーションスキルを学ぼう～応用編～」）また、1 講座 2～3 日開催する研修では各研修日の希望者数に偏りがみられたので、一定の受講者数になるよう応募者に協力を求めた。「新生児の病態生理と異常の対応を事例を通して学ぼう」は助産師の応募者が少なく看護職に募集を広げ定員に達した。

マネジメントラダーに基づく研修は、認定看護管理者教育課程ファーストレベルの公開講座を 2 講座、セカンドレベルの公開講座を 2 講座開催した。看護管理者職位別研修、看護補助者活用推進看護管理者研修、感染症や災害時の看護管理者の役割、特定行為研修制度などについて企画した。「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」は、新設された看護補助体制充実加算に伴い各施設から追加開催の希望があり、1 回追加し、2 回開催した。医療安全管理者養成研修は、平成 24.25.28 年度の開催以降、開催の必要性や希望が高まり今年度 6 年ぶりに開催した。

② 分類Ⅱ　社会のニーズに対応する実践力向上のための継続教育

国の第 8 次医療計画の策定により医療連携体制を特に必要とする 5 疾病 6 事業を見据え、がん、脳卒中、糖尿病、認知症、子どもの虐待に関する研修を企画した。また、准看護師に向けたキャリアアップに関する研修を企画した。「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」は定員以上の応募があった。「子どもの虐待」「准看護師向け研修」については応募が少なかった。

③ 分類Ⅲ　専門能力開発を支援する継続教育

「災害支援ナースの育成（基礎編・実務編）」は、いずれも定員に満たなかったが、本研修の受講により今年度新たに 6 名の災害支援ナース登録があった。

「入退院支援看護師養成研修」は、合計 5 日間の研修のうち昨年度と同様に今年度も訪問看護ステーション実習も開催することができた。定員を満たす応募があったが、コロナ禍により途中辞退の受講者が数名いた。（未履修内容の受講を次年度に推奨している。）
「外来・診療所の看護に今求められていること」は、定員に満たなかったが、参加者は外来・診療所の看護に関する意識が高まった。
「慢性期・療養型病院に勤務する看護職員に向けた研修」は、意向調査や検討委員会を重ねて開催した。

4）今後の課題

① 研修企画について

・日本看護協会のクリニカルラダーの看護の核となる 4 つの実践能力に即した研修および看護職・助産師・保健師・病院看護管理者のラダーに応じた企画とその意図を明確にした企画書の作成
・看護者や社会のニーズに応えられる研修企画（施設で研修企画が難しい場合に有効的に活用できる研修企画）
・専門能力開発を支援する継続教育や従事している専門分野に特化した内容の検討
・看護職（三職能）の連携・強化により、今求められている社会問題解決への取り組み
・施設や個人向け e-ラーニングの活用、看護協会のオンデマンド研修の導入などを念頭に置いた研修の企画
・看護管理者のマネジメントラダー取得のための学習内容のめやすを活用した研修企画
・今年度に日本看護協会が提唱する「看護師の生涯学習支援体制の構築」に準じて、次年度から従来の「生涯教育」の表現を「生涯学習支援」とする。

② 研修運営について

・研修企画の意図やねらい、講師の意図や進め方などの理解を深めた上での研修参加への動機付けをする。
・研修申込サイトを導入し 2 年経過した。受講者の状況により丁寧な説明に努めた。
次年度は、個人登録はじめ研修受付やアンケート回答について受講者が円滑にできるようオリエンテーションを工夫する。

③ 研修評価について

・保健師・助産師・看護師・看護管理者それぞれのラダーを活用した看護職各自の能力評価を意識した研修の活用と効果について検討する。
・研修の学びを実践に活用できているか各施設における受講者の受講後の状況を把握し、研修成果について検討する。

2 認定看護管理者教育事業

認定看護管理者制度の教育目的

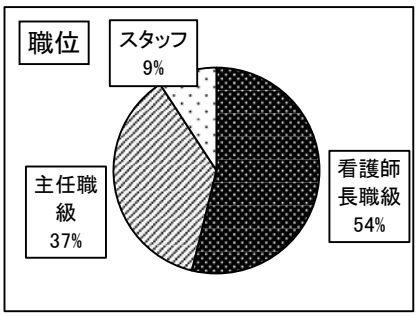
「多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献する。」

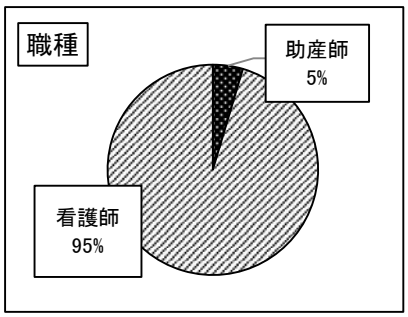
Ⅰ. ファーストレベル

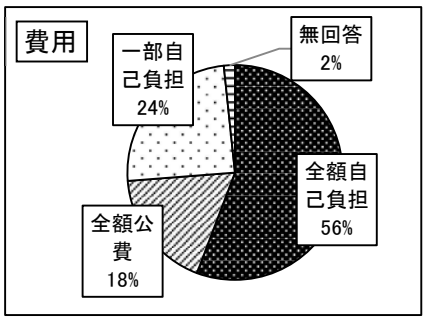
1. 受講者属性

受講者 62 名、修了者 61 名(26 施設:うち病院以外 3 施設 ・滋賀県以外の施設 0 名)

受講者内訳は、看護師 60 名、助産師 2 名、役職別では、看護師長 7 名、副師長 25 名、看護主任 24 名、スタッフ 6 名であった。受講費用については、全額公費 9 名、一部自己負担 15 名、全額自己負担 34 名、無回答 1 名。







2. ファーストレベル開催要項・講義内容 (別紙1-1, 1-2 参照)

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、集合での研修会を企画した。研修会の開催方法は分散型とした。また、感染者は、欠席としたが、濃厚接触者で症状がなく感染(—)の場合は、Zoom を活用し自宅等での受講可とした。

3. 教育目的、達成目標についての達成度について 4 段階(できた 4、まあまあできた 3、まあまあできなかった 2、できなかった 1)で確認した。

1) 教育目的「看護専門職とし必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。」

	できた	まずまずできた	少し不十分	不十分	無回答
第 1 回	23%	64%	11%	0%	2%

達成目標(1)ヘルスケアシステムの構造と現状が理解できる。

	できた	まずまずできた	少し不十分	不十分	無回答
第 1 回	33%	63%	4%	0%	0%

達成目標(2)組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。

	できた	まずまずできた	少し不十分	不十分	無回答
第 1 回	13%	79%	8%	0%	0%

達成目標(3)看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

	できた	まずまずできた	少し不十分	不十分	無回答
第 1 回	20%	70%	8%	0%	2%

受講生のうち 1 名が、感染症により、出席時間数が不足し、修了することができなかった。次年度、不足科目を再受講予定である。残り 61 名は、ファーストレベルの研修を修了した。

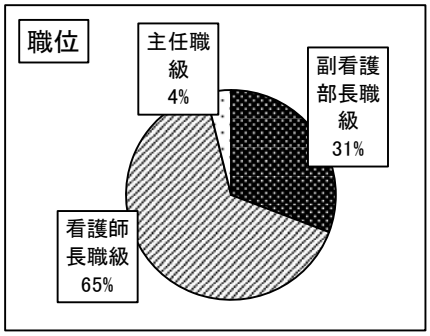
ファーストレベルは、滋賀県看護協会で平成 6(1994)年に開講された。令和4年度の修了生は 61 名で、滋賀県看護協会ファーストレベル登録者は 1681 名となった。

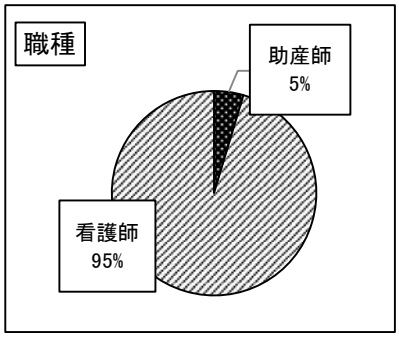
Ⅱ. セカンドレベル

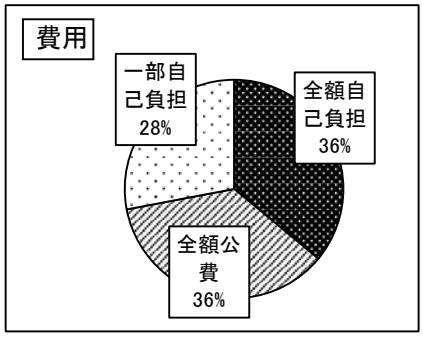
1. 受講者属性

受講者 26 名、修了者 26 名(20 施設:病院のみ ・滋賀県以外の施設 0 名)

受講者内訳は、助産師 1 名、看護師 25 名、役職別では、副看護部長 8 名、看護師長 17 名、副看護師長 1 名であった。受講費用については、全額公費 9 名、一部自己負担 7 名、全額自己負担 9 名、無回答 1 名。







2. セカンドレベル開催要項・講義内容 (別紙 2-1, 2-2 参照)

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、集合での研修会を企画した。研修会の開催方法は集中型とした。また、感染者は、欠席としたが、濃厚接触者で症状がなく感染(―)の場合は、Zoom を活用し自宅等での受講可とした。

3. 教育目的、達成目標についての達成度について 4 段階(できた、まずまずできた、もう少し不十分、不十分)で確認した。(26 名)

1)教育目的「看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。」

	できた	まずまずできた	もう少し不十分	不十分	無回答
人数(26)	4	17	4	0	1

教育目標(1)組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。

	できた	まずまずできた	少し不十分	不十分	無回答
人数(26)	11	12	1	0	2

教育目標(2)保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

	できた	まずまずできた	少し不十分	不十分	無回答
人数(26)	3	21	0	0	2

セカンドレベルは、平成 18(2006)年度から奈良県・京都府・滋賀県の 3 県合同により開講された。

令和 4(2022)年度から滋賀県看護協会単独で開催している。令和 4 年度の修了者は 26 名で、滋賀県看護協会登録者は 295 名となった。

2022(令和 4)年 12 月 31 日現在、滋賀県内の認定看護管理者登録者数は、51 名である。

2022(令和4)年度　認定看護管理者教育課程ファーストレベル開催要項　（別紙1-1）

１．**教育理念：**保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応し、創造的に柔軟に変革する能力を有する看護管理者を育成する。

２．**教育目的：**看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

３．**到達目標：**1.ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
2.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
3.看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

４．**開催期間：1回開催**　2022年6月10日（金）～7月29日（金）

＊講義日程は後日ホームページに掲載する。

５．**開催場所：**滋賀県看護研修センター

６．**定　員：50　名**

７．**受講要件：**以下の条件全てに該当すること
1）日本国の看護師免許を有する者
2）看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者
3）管理的業務に関心がある者

８．**教育内容および時間数：**別紙1参照

９．**修了要件：**以下の条件をすべて満たすこと
1）出席：各教科目の所定の時間数の5分の4以上の出席
2）教科目レポート：6教科目全ての合格

10．**受講料等経費**
受講料　：　会員　99,000円　　非会員　247,500円
修了審査料　：　20,000円（一律）
※教科目レポート再審査料：1科目5,000円（教科目レポート審査不合格の場合）

11．**申込方法**
申込書(様式1)、申込み時レポート(別紙2参照)を<u>応募期間内に**郵送にて提出**</u>する。
※申込書は、研修申し込みサイトからダウンロード後、入力、プリントアウトすることも可
【提出先】　〒525-0032　滋賀県草津市大路二丁目11番51号
公益社団法人滋賀県看護協会　教育部

12．**応募期間：** 2022年4月1日（金）～4月10日（日）17時必着

13．**受講決定および選考基準**
下記選考基準により決定し、通知する。
施設に所属されている方は、施設長または看護管理責任者宛に通知する。
【選考基準】　1）受講要件を満たしている　2）提出書類に不備がない
3）受講動機が明確である　4）申込み時レポートが評価基準を満たしている

14．**受講方法：**原則、集合研修。しかし、新型コロナウィルス感染症の状況・講師の都合等によりオンライン研修を取入れることがある。インターネット環境・パソコン（マイク・カメラ機能が内蔵または、接続可能なもの）が必要になる。

教育内容および時間数

教科目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅰ	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	15
	保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会	
	ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種の理解 ・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準	
組織管理論Ⅰ	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	15
	看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	
人材管理Ⅰ	労務管理の基礎知識	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理（メンタルヘルスを含む） ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	30
	看護チームのマネジメント	・チームマネジメント ・看護ケア提供方式 ・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	
	人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法	
資源管理Ⅰ	経営資源と管理の基礎知識	・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果	18
	看護実践における情報管理	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）	
質管理Ⅰ	看護サービスの質管理	・看護サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善 ・看護サービスの安全管理 ・看護サービスと記録	15
統合演習Ⅰ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する。	18
特別講義	その他	・論理的思考と論文の書き方	3

合計　111

（別紙 2-１）

2022(令和 4)年度　認定看護管理者教育課程セカンドレベル　開催要項

1. 教育理念

保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応し、創造的に柔軟に変革する能力を有する看護管理者を育成する。

2. 教育目的

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

3. 到達目標

1） 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。

2） 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

4. 教科目

1） ヘルスケアシステム論Ⅱ　　2） 組織管理論Ⅱ　　3） 人材管理Ⅱ

4） 資源管理Ⅱ　　5） 質管理Ⅱ　　6） 統合演習Ⅱ

5. 教育内容および時間数(別紙 1 参照)

6. 開催期間・応募期間・定員・受講料等経費

開催期間	応募期間	定員	受講料等経費
2022 年 11 月 2 日～12 月 23 日 【集中型】 ※講義日程参照	2022 年 8 月 1 日 ～8 月 15 日 17 時必着	40 名	【受講料】　会員　203,500 円 非会員　508,750 円 修了審査料（一律）　25,000 円 ※日本看護協会会員をもって、「会員」とする。

＊教科目レポート再審査料:1科目 5,000 円
（教科目レポート審査不合格の場合）

7. 開催場所

滋賀県看護研修センター　（〒525-0032　滋賀県草津市大路二丁目 11 番 51 号）

8. 受講要件

以下の条件全てに該当すること。

1） 日本国の看護師免許を有する者

2） 看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者

3） 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当※の職位に 1 年以上就いている者

※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。

9. 修了要件 ： 以下の条件をすべて満たすこと

1） 出席:各教科目の所定の時間数の 5 分の 4 以上の出席

2） 教科目レポート:各教科目全ての合格

10. 申込方法

1） 受講申込み ：下記必要書類を応募期間内に郵送にて提出する。

【提出書類】

（1） セカンドレベル受講申込書（様式 1）

（2） 看護管理課題レポート（別紙 2 参照）

（3） 添付書類：受講要件により、①または②を添付

①認定看護管理者教育ファーストレベル修了者は修了証の写し

②ファーストレベル未修了で、看護部長相当の職位にある者、または 副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者は勤務証明書（様式 2）

※申込書等は研修申込サイトからダウンロードしてご使用下さい。

【提出先】

〒525-0032　滋賀県草津市大路二丁目 11 番 51 号

公益社団法人滋賀県看護協会　教育部

2） 選考方法

（1） 認定看護管理者教育運営委員会において、看護管理課題レポートの審査を行う。

（2） 評価基準をもとに、看護管理課題レポートが所定の規程に沿って記述されていることを総合的に評価する。

（3） 選考基準をもとに総合的に合否判定を行う。

【選考基準】

① 受講要件を満たしている

② 提出書類に不備がない

③ 受講動機が明確である

④ 看護管理課題レポートが評価基準を満たしている

3） 受講決定 ：選考基準により決定し、施設に所属されている方には、施設長または看護管理責任者宛に、施設に所属していない方には、個人宛に通知する。

11. 受講方法

原則、集合研修。しかし、新型コロナウィルス感染症の状況・講師の都合等によりオンライン研修を取入れることがある。インターネット環境・パソコン（マイク・カメラ機能が内蔵または、接続可能なもの）が必要になる。

（別紙2-2）

滋賀県看護協会セカンドレベル　カリキュラム

【教育内容】　　合計180時間

教科目	単　元	教育内容	時間数		
ヘルスケアシステム論Ⅱ	1）社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移	15	3	
	2）保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスにおける滋賀県や看護協会の動向と看護職の役割		3	
		・保健医療福祉サービスの提供内容の実際　：　病院		6	2
		；　訪問看護ステーション			2
		；　看護小規模多機能型居宅介護			2
	3）ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際と課題		3	
組織管理論Ⅱ	1）組織マネジメントの実際	・組織分析	30	12	
		・組織の変革 ・組織の意思決定		6	
	2）看護管理における倫理	・看護管理における倫理的課題		6	
		・看護管理における倫理的意思決定①		3	
		・看護管理における倫理的意思決定②		3	
人材管理Ⅱ	1）人事・労務管理	・人員配置　・勤務計画　・タイムマネジメント ・ワークライフバランスの推進	45	6	
		・ストレスマネジメント		3	
		・労働災害とその対策　・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応		6	
		・能力評価　・目標管理		3	
	2）多職種チームのマネジメント	・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際		6	
		・コンフリクトマネジメント		6	
		・看護補助者の育成		3	
	3）人材を育てるマネジメント	・人材育成計画 ①		3	
		・人材育成計画 ②		3	
		・キャリア開発支援		6	
資源管理Ⅱ	1）経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果	15	6	
		・適切な療養環境の整備		3	
	2）看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用		6	
質管理Ⅱ	1）看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント①	30	6	
		・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント②　看護の質評価		6	
	2）安全管理	・安全管理の実際　　：医療安全		3	
		・安全管理教育　　・法令遵守		3	
		・災害対策　①災害時の安全		6	
		②看護管理の立場から		3	
		③感染管理（新興感染症）		3	
統合演習Ⅱ	演習	・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。 演習〔1〕：　自部署の課題明確化・実践計画立案方法	45	6	
		演習〔2〕：　BSCを用いた戦略的マネジメント		6	
		演習〔3〕：(1)自部署の組織分析 (2)グループワーク及び演習支援者より個別に助言を受ける。 ①課題の明確化 ②実践可能な看護管理実践計画書の作成		27	
	実習	・地域連携を理解するための他施設実習を行う。 （実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする） (1)事前課題　： ①組織分析（自施設について情報収集） ②地域包括ケアシステムにおける自施設の機能と役割・自部署の使命などを考え、 自部署の管理上の課題・自身の役割を再考する。（A41枚程度にまとめる） (2)実習先の選択と決定（希望理由をデータで示す） (3)事務局により日程調整後、各自で具体的内容を確認・調整する。 (4)他施設実習 (5)事後課題　：備考欄※2参照 「看護管理実習を終えての学び」-地域包括ケアシステムにおける自施設・自身の役割-　レポート提出（看護協会より実習施設へ郵送）		6	

３　保健師人材育成事業

（1） 企画評価会議

日　時　　令和４年６月 27 日(月)13:30～16:30

検討内容

・A1および保健師コンサルテーション研修(A3)、フォローアップ研修に関すること。

・令和４年度研修について、開催要領・プログラム・評価法(アンケート等)に関すること。

場　所　　滋賀県看護研修センター

参加者　　コンサルタント(京都看護大学名誉教授　堀井とよみ氏他　５名)

県保健師活動アドバイザー　福井美代子氏、県統括保健師　宇野千賀子氏

看護協会役員　１名　　計９名

(2)新任期保健師(A1 レベル)研修

日　時　　第１日目　令和４年 11 月 14 日(月)9:30～17:00

第２日目　令和５年　１月 20 日(金)9:30～17:00

目　標

① 住民の生活を支援する保健師として、担当する地域(対象)をアセスメントし、課題抽出、および計画立案するために基本的事項を理解できる

② 住民の生活環境、健康状態、地域資源などの情報を把握・分析し担当する地域(対象)の特性を理解することができる。

③ 積極的に地域に出向き、住民とともに活動する姿勢を持つことができる。

講師等

滋賀県立大学人間看護学部　　准教授　馬場　文　氏

滋賀県健康寿命推進課　アドバイザー　　福井美代子　氏

対象者　　就業 2～3 年目の A1 レベルの保健師(A2 を目指す保健師)

参加者　　第１日目　13 名　　第２日目　12 名

(3)移行期保健師研修(事例検討会ファシリテーター養成研修)

日　時　　令和４年９月８日(木)9:30～16:30

目　標

日常に体験する個別事例から保健師活動を発展させる手法としての「事例検討の基本」を学び、自分の活動を通して事例検討ができ実践力の向上を図るとともに、事例検討会でのファシリテーターの役割を理解し実践できる人材を育成する。

［テーマ］　事例検討をやってみよう

Ａ－１（個別事例（家族）の経過説明ができる課題が理解できる）（他者の事例に対して質問や意見を述べることができる）

Ａ－２（個別の課題が理解できる）（事例をまとめ提示できる）（個別事例（家族）のアセスメント㋐言語化できる）

Ａ－３（担当者としての役割が理解できる・役割が遂行できる）（ファシリテーター・板書係を遂行できる）

２グループに分かれ演習を実施する。

講　師

武蔵野大学看護学部　教授　中板育美氏

対象者　　自治体保健師キャリアラダーA-3 を目標とする保健師

参加者　　22 名

(4)-1保健師コンサルテーション研修

日　時　　令和４年８月６日(土)～令和５年３月８日(水)の期間　9:30～16:30

前期プログラム　　８月６日(土)、８月８日(月)

中期プログラムⅠ　９月 21 日(水)

中期プログラムⅡ　11 月 18 日(金)

後期プログラム　　令和５年２月 13 日(月)、14 日(火)

成果報告会　　令和５年３月８日(水)

＊実施期間内に自部署において課題検討や訪問等を実施する。

目　標

A4 レベルを目指す中堅期の保健師に A3 レベルの専門性や保健師活動の真価を再確認し、保健師としてのアイデンティティの強化を目指す。

講　師

武蔵野大学看護学部　教授　中板育美氏

コンサルタント　京都看護大学　名誉教授　堀井とよみ氏他５名

滋賀県保健師活動アドバイザー　福井美代子氏

参加者　　７名 内、修了者７名

(4)-2フォローアップ研修および統括保健師研修

日　時　　令和５年２月１日(水)13:30～16:30

目　標

保健師コンサルテーション研修修了者が一堂に会し、その後の活動の振り返りや中堅保健師としての役割を再認識する機会とする。併せて、統括保健師、統括保健師補佐との合同研修会とすることで、自組織の保健師活動や人材育成について情報共有することで、今後の実践活動につなげる。

内　容

講演「コロナ禍の保健師活動」

シンポジウム「コンサルテーション研修の学びと保健師活動」

講　師

日本看護協会　常務理事　鎌田久美子氏

京都看護大学　名誉教授　堀井とよみ氏他５名

滋賀県保健師活動アドバイザー　福井美代子氏

シンポジスト　南部健康福祉事務所大井恭子氏他２名

対象者　　コンサルテーション研修修了者（64 人）

および、滋賀県内の統括保健師、統括保健師補佐等

参加者　　22 名

(5)受講者、指導者へのアンケート実施

・各期のアンケート

・受講前後のキャリアラダー評価

(6)報告書の作成、配布

４ 新人看護職員資質向上支援事業

（１） 目的

新人看護職員の資質向上を目標とした、基本的な臨床実践能力が獲得できる新人看護職員研修が、新人看護職員が就職するすべての施設において実施されるよう、新人看護研修プログラムの策定および企画立案を担う新人看護職員支援者（研修責任者および教育担当者）を対象とした研修を行う。

① 新人支援者研修検討会の開催　　２回
委員　５名　県担当者　１名　協会事務局３名
第１回　令和４年７月５日（火）
第２回　令和５年２月 17 日（金）

② 研修会の実施

・研修責任者研修：４日間開催（詳細は、2022 年度　新人看護職員研修責任者研修開催要項参照）
受講者　22 名参加　　修了者　22 名

・教育担当者研修：４日間開催（詳細は、2022 年度　新人看護職員研修教育担当者研修開催要項参照）
受講者　51 名参加　　修了者　51 名

・フォローアップ研修の実施

目的

過去の研修責任者や教育担当者の研修会に参加した者が新たな知識を得て課題を明確にできる。また、解決の糸口を見出すことができる。

看護管理者が新人、他看護職員の状況を正しく評価でき、仕事へのさらなる動機づけをするために、また、対応に困る職員とどのようにかかわることがチームの活性化につながるかを学ぶ。

・日時　　令和５年１月 17 日（火）13：30～16：30
・研修場所　滋賀県看護研修センター
・研修内容　講義
「大人（青年期）の発達障害が疑われるケースの理解と対応」

・講師　　相澤　雅文　氏　　京都教育大学　教授
・受講者　31 名
＊今年度、新人看護職員研修責任者研修・教育担当者研修修了者以外も受講可とした。

令和４年度　新人看護職員研修 責任者研修開催要項

1.　目　的

新人看護職員研修ガイドラインに示されている新人看護職員研修の企画・運営・評価等の実施に必要な能力を習得し、各施設において新人看護職員の卒後臨床研修体制を整備することができる。

2.　目　標

1)　新人看護研修の意義を学び、研修責任者としての役割が理解できる。
2)　さまざまな意見や課題を集約し、新人看護職員に対する研修計画、具体的な研修プログラムを策定、評価・修正することができる能力を養う。
3)　研修の進捗管理及び問題解決ができる能力を養う。
4)　教育担当者と実地指導者への教育的・精神的支援について理解を深める。
5)　関係部署や他職種及び他施設との連携や調整能力を養う。

3.　研修内容

月日時間	研修テーマ	学習内容	講師
10／26 9：30～ 16：30	新人看護職員研修体制について 新人看護職員研修体制の構築と運営 新人看護職員研修の企画と評価	1.　自施設の新人看護職員研修体制について 2.　新人看護職員研修体制の構築と運営 3.　新人看護職員研修の企画と評価 ・新人看護職員の実践能力習得状況の把握 ・看護部理念と自施設における新人看護職員に求める能力の明確化 ・新人看護職員の教育計画立案 ・評価方法と評価結果のフィードバック 4.　労務管理を踏まえた新人看護職員研修の構築 5.　教育担当者の支援 **＊各施設の状況を持ち寄り、情報共有し、疑問を解決する。そのため、必ず、看護管理者から自施設の新人教育について説明を受けて臨んでください。また、自施設にとりいれる企画・内容・評価について考え、具体化できる機会とする。（最終日、報告いただく時間を設定しています。）** ＊各施設の病院の理念・看護部理念・看護部教育マニュアル・新人看護職員研修体制・研修計画などを持参してください。	滋賀医科大学医学部 附属病院 看護臨床教育センター 講師　　小野　幸子
10／27 9：30～ 16：30	新人看護職員研修にかかわる看護職員のメンタルサポート	・看護職員のストレスとメンタルヘルス 看護職員が受けるストレッサー、バーンアウトとストレス ストレスへの対応 ・新人看護職員と実地指導者・教育担当者への精神的支援の実際 ・メンタルサポート体制 **各施設の状況を持ち寄り、情報共有し、疑問を解決する。また、自施設に取り入れる支援について考え、具体化できる機会とする。** ＊サポート体制を把握して臨んでください。	滋賀医科大学医学部 附属病院 精神看護専門看護師 光岡　由紀子
10／28 9：30～ 16：30	新人育成お悩み相談	新人看護職員の育成を通して人が育つ風土を育てる	ビジネスブレーン 代表取締役　永井　則子
11／2 9：30～ 12：30	自施設での新人看護職員研修	自施設に取り入れる企画・内容・評価の具体化	【コメンテーター】 滋賀医科大学医学部 附属病院 看護臨床教育センター 講師　小野　幸子
11／2 13：30～ 16：30	新人看護職員への教育方法	成人学習者の特徴と教育原理・教育方法と評価 （責任者対応 Ver.）	京都教育大学 教授　相澤　伸幸

令和４年度　新人看護職員研修　教育担当者研修開催要項

1.　目　的

新人看護職員の教育担当者としての役割を理解し、教育方針に基づき、各部署での研修企画・運営を中心に行う能力を養う。

2.　目　標

1）新人看護研修の意義を学び、教育担当者としての役割が理解できる。
2）施設の新人看護職員研修計画に沿って、部署管理者とともに部署における新人看護職員研修の計画立案と実施・評価ができる能力を養う。
3）新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員研修が効果的に行われるよう、実地指導者と新人看護職員への教育および精神的支援について、理解を深める。
4）新人看護職員同士、実地指導者同士の意見交換や情報共有の場を設定し、新人看護職員と実地指導者との関係調整能力を養う。

3.　研修内容

月日時間	研修テーマ	学習内容	講師
10／6 9：30～ 16：30	新人看護職員研修体制について 新人看護職員研修体制の構築と運営	・新人看護職員研修に関する考え方や政策的動向 ・生涯学習、専門職業人としての継続教育、キャリア形成の考え方 ・新人看護職員研修の概略 ・新人看護職員研修における研修責任者・教育担当者の役割 ・新人看護職員を育てる組織風土づくり ・新人看護職員研修の指導体制における研修責任者、教育担当者、実地指導者の役割と活動内容 ・新人看護職員研修の指導体制づくり ・現場への周知徹底の実際	滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター 講師 小野　幸子
10／17 9：30～ 12：30	部署における新人看護職員研修の立案と評価	・新人看護職員の実践能力習得状況 ・看護部理念と自施設における新人看護職員に求める能力の明確化 ・新人看護職員の教育計画立案 ・評価方法と評価結果のフィードバック	滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター 講師 小野　幸子
10／17 13：30～ 16：30	新人看護職員の教育方法	・成人学習者の特徴と教育原理・教育方法と評価	京都教育大学 教授 相澤　伸幸
10／25 9：30～ 16：30	実地指導者の育成・支援 オンライン研修	・実地指導者の育成について ・実地指導者の支援体制について ・実地指導者が感じる新人看護職員指導上の問題とその解決方法	愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター 助教　内藤　知佐子
10／31 9：30～ 16：30	新人看護職員研修にかかわる看護職員のメンタルサポート	・看護職員のストレスとメンタルヘルス 看護職員が受けるストレッサー バーンアウトとストレス ストレスへの対応 ・新人看護職員と実地指導者への精神的支援の実際	滋賀県立総合病院 精神看護専門看護師 野田　智子

5 看護管理者資質向上支援

1. 事業目的

地域医療構想に沿って地域連携を推進するうえで、保健医療圏域ごとの看護管理者のネットワークづくりの推進が必要であり、そのため、看護管理者の資質向上を図ることを目的に看護管理者研修会を行う。

2. 事業内容及び結果

1）看護管理者研修

地域包括ケア推進のための認定看護管理者の企画による研修会の開催

ア）主任級対象　「キャリアマネジメントのための基礎知識」　参加者：34 名

講　師：滋賀医科大学附属病院　加賀　有未　氏

イ）看護師長研修（県受託事業の対象）

〇集合研修　　開催日：令和 4 年 8 月 5 日（金）9:30～16:30

目　的：組織がめざす成果と質の高い看護の提供のために、看護管理者(看護師長クラス)として、自部署における問題の本質をとらえ問題解決思考を身につけ、看護管理実践力の向上を図る。

テーマ：「地域における自施設の機能を知り、自部署の課題を発見しよう」

講　師：山梨大学大学院　小林　美亜　氏

参加者：16 名

〇 他施設訪問研修・各支部での報告会を実施。

ウ）副部長・看護部長対象研修　「看護管理者のスタッフ看護師へのエンパワリング行動」

参加者：24 名

講　師：東京医科歯科大学大学院　佐々木　美樹　氏

エ）副部長・看護部長対象「看護管理者に必要な医療経済の基礎の基礎」　参加者：21 名

講　師：山口大学　　角田　由佳　氏

６　実習指導者講習会開催事業

１．事業目的

看護師養成所（保健師、助産師、看護師、准看護師養成所）の実習施設における実習指導担当者及び将来これらの施設の実習指導者となる予定の者に対して、看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解させ、効果的な指導ができるよう必要な知識、技術を修得させることを目的とする。

２．事業内容

（１）カリキュラム検討委員会の開催　　３回

委員名簿

氏　　名	所　　属	職　　位
荒川　千登世	滋賀県立大学人間看護学部	准教授
池元　香織	近江八幡市立総合医療センター	主　任
伊部　恵美子	彦根市立病院訪問看護ステーション	認定看護師
須佐美　智子	市立大津市民病院	看護局次長
中尾　裕子	甲賀看護専門学校	副校長
古川　みどり	豊郷病院	看護師長
草野　とし子	滋賀県看護協会	会　長

教育内容、実習指導方法演習の方法（評価内容）について協議し、講習会（フォローアップ研修含む）実施後は評価を行った。

（２）滋賀県実習指導者（特定分野含む）講習会

＜開催期間＞

一般：令和４年８月 18 日（木）～令和４年 10 月 25 日（火）

204 時間（規定 180 時間）

特定分野：

令和４年８月 18 日（木）～令和４年９月９日（金）

54 時間（規定 39 時間）

＜受講・修了者＞　　61 名（内　特定分野受講者　13 名）

（３）フォローアップ研修

<目的>

実習指導者講習会受講後の指導経験をもとに現状を共有し、指導体制や効果的な指導方法などの課題を解決する一助とする。

<日　時>令和５年１月 13 日(金)　13：30～16：30

<研修内容>

テーマ「実習指導者として学生と共に成長する」

講師：相澤　伸幸氏　京都教育大学　教授

<対　象>

令和３年度までの実習指導者講習会修了者（主催は問わない）で、現在も実習指導者として実習指導を担当している者

<受講・修了者>　　30 名

時間割

月　日	曜日	9：30～ 12：30		13：30～ 16：30	
		科　　目	講師	科　　目	講師
8月18日	木	開講式　オリエンテーション		特別講義「看護協会の機能と役割・実習指導者に期待すること」	会長
8月19日	金	特別講義「保健医療福祉の動向・看護の動向」	本田	特別講義「臨地実習指導に活かす看護倫理の基本」	糸島
8月20日	土				
8月21日	日				
8月22日	月	教育原理①S	eラン	教育原理②	eラン
8月23日	火	教育原理③	eラン	教育原理④	eラン
8月24日	水	教育原理⑤E	eラン		
8月25日	木	教育方法①S	eラン	教育方法②	eラン
8月26日	金	教育方法③	eラン	教育方法④	eラン
8月27日	土				
8月28日	日				
8月29日	月	教育方法⑤E	eラン		
8月30日	火	教育心理①S	eラン	教育心理②	eラン
8月31日	水	教育心理③	eラン	教育心理④	eラン
9月1日	木	教育心理⑤E	eラン		
9月2日	金	教育評価①S	eラン	教育評価②	eラン
9月3日	土				
9月4日	日				
9月5日	月	教育評価③	eラン	教育評価④	eラン
9月6日	火	教育評価⑤E	eラン		
9月7日	水	看護論①S	eラン	看護論②	eラン
9月8日	木	看護論③	eラン	看護論④	eラン
9月9日	金	看護論⑤E	eラン		
9月10日	土				
9月11日	日				
9月12日	月	オリエンテーション	教育部	看護教育課程（総論）①S	中川
9月13日	火	特別講義「教育の基盤」	徳岡	特別講義「教育の基盤」	徳岡
9月14日	水	看護教育課程（総論）②	中川		
9月15日	木	実習指導方法論①S	中尾	看護教育課程（大学）（助産師課程）	立岡
9月16日	金				
9月17日	土				
9月18日	日				
9月19日	月				
9月20日	火	実習指導方法演習オリエンテーション	教育部	実習指導方法論②	中尾
9月21日	水	実習指導方法論（評価）①S	本田可	看護教育課程（2年課程・通信制・准看護師課程）	長野
9月22日	木	実習指導方法論③	中尾	実習指導方法論④	中尾
9月23日	金				
9月24日	土				
9月25日	日				
9月26日	月	実習指導方法論⑤	中尾		
9月27日	火				
9月28日	水	実習指導方法論⑥	中尾	実習指導方法論⑦E	中尾
9月29日	木	実習指導方法論（評価）②	本田可	実習指導方法論（評価）③E	本田可
9月30日	金	看護教育課程（3年課程）③E	中川	実習指導方法演習①S	
10月1日	土				
10月2日	日				
10月3日	月				
10月4日	火	実習指導方法演習②		実習指導方法演習③	
10月5日	水	実習指導方法演習④（臨地見学実習）			
10月6日	木				
10月7日	金	実習指導方法演習⑤		実習指導方法演習⑥	
10月8日	土				
10月9日	日				
10月10日	月				
10月11日	火	実習指導方法演習⑦		実習指導方法演習⑧	
10月12日	水	実習指導方法演習⑨		実習指導方法演習⑩	
10月13日	木				
10月14日	金	実習指導方法演習⑪		実習指導方法演習⑫	
10月15日	土				
10月16日	日				
10月17日	月				
10月18日	火	実習指導方法演習⑬		実習指導方法演習⑭	
10月19日	水	実習指導方法演習⑮		実習指導方法演習⑯	
10月20日	木				
10月21日	金	実習指導方法演習⑰		実習指導方法演習⑱	
10月22日	土				
10月23日	日				
10月24日	月	実習指導方法演習⑲発表会		実習指導方法演習⑳発表会E	
10月25日	火	学びの共有・使命宣誓・閉講式			

時間割（特定分野）

月　　日	曜日	9：30～ 12：30		13：30～ 16：30	
		科　　目	講師	科　　目	講師
8月18日	木	開講式　オリエンテーション		特別講義「看護協会の役割と機能・実習指導者に期待すること」	会長
8月19日	金	特別講義 「保健医療福祉の動向・看護の動向」	本田	特別講義 「臨地実習指導に活かす看護倫理の基本」	糸島
8月20日	土				
8月21日	日				
8月22日	月				
8月23日	火	教育原理・教育心理	徳岡	教育方法	徳岡
8月24日	水	実習指導の実際Ⅰ①S	須佐美	実習指導の実際Ⅰ②	須佐美
8月25日	木				
8月26日	金	実習指導の実際Ⅰ③E	須佐美	演習オリエンテーション	
8月27日	土				
8月28日	日				
8月29日	月				
8月30日	火	実習指導の実際Ⅱ①S		実習指導の実際Ⅱ②	
8月31日	水				
9月1日	木	実習指導の実際Ⅱ③		実習指導の実際Ⅱ④	
9月2日	金				
9月3日	土				
9月4日	日				
9月5日	月	実習指導の実際Ⅱ⑤		実習指導の実際Ⅱ⑥	
9月6日	火				
9月7日	水	実習指導の実際Ⅱ⑦		実習指導の実際Ⅱ⑧E（発表会）	
9月8日	木				
9月9日	金	学びの共有・使命宣誓・閉講式			

7　助産師出向事業

（１）事業目的

滋賀県では出産場所は診療所が病院を上回っている（病院：診療所＝4：6）にも関わらず、就業助産師数は病院が診療所より多い状態であり、医療施設間での偏在がある。また、病院においては正常分娩の件数が少ないため、助産師外来や院内助産に必要な経験が十分にできない状況である。これら就業先の偏在の是正、助産実践能力の強化を図るために、医療施設間での助産師の出向・受入れを支援することを目的とする。

（２）協議会の開催目的

滋賀県における安全・安心な出産環境を整備するため、就業先の偏在と助産実践能力の強化支援を図るため、医療施設間での助産師の出向・受け入れを支援する事業を行うため協議会を設置する。

開催場所：滋賀県看護研修センター

協議会開催状況

開　催　日	議　　題	委員等出席数
令和４年 ７月５日（火） 15:00～16:30	1. 助産師出向支援事業について　実施要綱、協議会設置要項 2. 平成 26 年度～令和３年度までの実績 3. 令和３年度助産師出向支援事業実施結果について 4. 令和４年度事業計画について 1)「滋賀県看護協会　助産師出向支援事業ガイドライン」の活用について 2) 令和４年度助産師出向支援事業の意向調査・結果 3) 令和４年度助産師出向事業スケジュール マッチング、調整、具体的な進め方 5. 広報、報告会等について	12 名
令和４年 12 月 20 日(火) 15:00～17:00	1.令和４年度助産師出向支援事業の調整経過と出向状況について 出向状況（予定含む） ４事例報告（6 名希望者が事情により２名辞退となる） 2.今年度報告会開催について 広報を兼ねて出向者＋過去の出向者、出向元・出向先管理者の報告 3. 今後の事業展開について ・出向希望者増に向けての対応策 ・出向受け入れについて、出向希望施設に関して ・出向事業の報告について	12 名
令和５年 3 月 23 日（木） 15:00～17:00	1.助産師出向支援事業の実施結果と評価 2.今後の助産師出向支援事業について ①研修内容・期間について　②「修了証」発行・広報について	13 名

（３）令和４年度助産師出向事業報告会開催

日時：令和５年３月９日（木）　13：30～16：45

場所：看護研修センター

内容：令和４年度助産師出向の報告・意見交換

① 出向した助産師より報告（4 名）

② 出向元より報告（3 名）

③ 出向先より報告（4 名）

④ 過去の出向助産師より報告（2 名）

方法：対面方式

参加者：34 人

（４）事業実施の結果

ア　助産師出向への意向調査

滋賀県内で分娩を取り扱う 10 病院、17 診療所を対象に調査を 5 月に実施した。分娩介助目的が希望の出向元は 3 病院、検討中 0 病院、MFICU・NICU/GCU への出向希望の出向元病院は 1 病院、1 診療所、検討中はなかった。出向受け入れ可能である出向先診療所（病院）は 6 ヶ所（MFICU・NICU/GCU を含む)、検討中は 1 病院（NICU）であった。検討中でもコロナ感染終息後との回答があった。

出向者は分娩介助目的 4 人、MFICU・NICU/GCU2 人であった。しかし、人員不足や育児休業により出向出来ない状況が見られた。一方では、この事業は継続して欲しい、次年度は人員調整をして参加できるよう検討したいなど前向きな意見があった。

イ　出向支援・調整

今年度の出向支援・調整にはコロナ禍でも日常の職員と同様との考えがあり、出向希望、受け入れ調整には協力が得られた。出向者希望者は 6 人であったが、一人は個人の問題、一人は施設側の調整ができず次年度の課題となった。そうした結果、出向元 4 施設、出向先 4 施設の協力が得られた。期間に関しては、メリットも考え 2 ヶ月間に近づけられるよう検討をお願いした結果、2 週間～5 週間の出向が可能となった。また、NICU への研修期間中にコロナ感染状況で一時中止となったが、終了後に 2 日間の研修を実施した。こうして、令和 4 年 5 月から翌年 2 月まで出向支援・調整を継続して実施することができた。

ウ　出向結果

４事例が出向した。

（表１）　４事例の出向状況

出向元	出向先	研修目的	期間	
南草津野村病院	滋賀医科大学医学部附属病院	（研修）MFICU 看護 NICU 看護見学 GCU 看護見学	R4.9.26～ R4.10.7 （２週間）	－
大津赤十字病院	南草津野村病院	（研修）分娩介助 妊産褥婦ケア他	R4.10 .3 ～ R4.11.30 （２週間）	介助経験数 28 例
淡海医療センター	清水産婦人科	（研修）分娩介助 妊産褥婦ケア他	R5.1.16～ R5.2.17	介助経験数 19 例
野村産婦人科	大津赤十字病院	（研修）MFICU 看護 NICU 看護見学 GCU 看護(実施・見学)	R5.1.16~ R5.1.27 （２週間）	

（５）事業の評価

今年度、コロナ感染拡大も懸念されたが、事業の説明、調整を行う中で、受け入れ側も出向者は職員同様と考えることが浸透し事業に協力が得られた。その結果 4 人の出向が実現でき、事業の継続に繋がったと評価できる。

連続した分娩介助の体験、分娩例数 19 例や 28 例の介助により、分娩時の判断能力のアップ、産婦の希望する分娩への介助、妊産婦への保健指導の見学もでき、助産実践能力向上に繋がったと評価できる。

少子化により、分娩件数が減少する施設においては、助産師の助産実践能力の向上に他施設の支援を得たいと考える施設が増加してきている。そのため、各施設が出向の方法や期間を検討いただき効果を得ている。また、出向を可能にするための意見を協議会にいただく等、前向きに考える施設も増加してきている。助産師育成において、施設と共に発展させていける助産師出向支援事業の継続は必要と考える。

8. 滋賀県認知症医療対策推進事業

<table>
<tr><th>事業項目</th><th>実施項目</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">滋賀県医療従事者認知症対応力向上研修事業</td><td>1．検討委員会</td><td>事業目的
病院勤務の看護師や診療所の看護職員等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得するための研修を実施することにより、医療機関での認知症ケアの適切な実施の確保を図ることを目的とする。

1）検討委員　7名
・認知症サポート医　2名
・病院看護教育担当　2名
・認知症看護認定看護師　2名
・滋賀県看護協会 会長　1名

2）検討委員会
第１回
日　時：令和４年７月29日（金）14：00～16：00
場　所：滋賀県看護研修センター【当日中止→紙面決議】
内　容：研修企画・運営検討

第２回
日　時：令和５年３月15日（水）14：00～16：00
場　所：滋賀県看護研修センター【参集】
内　容：研修評価・課題抽出</td></tr>
<tr><td>2．研　　修</td><td>1）看護職員認知症対応力向上研修
日　時：令和４年９月15日（木）
令和４年９月16日（金）　計18時間（3日間）
令和４年９月17日（土）
場　所：滋賀県看護研修センター【集合研修】
参加者：35名（修了証書交付）

2）病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修
日　時：令和４年11月17日（木）13：30～17：00
場　所：滋賀県看護研修センター【集合研修】
参加者：65名（修了証書交付）

3）診療所・病院の外来部門で働く看護職の認知症対応力向上研修
日　時：令和４年12月１日（木）14：10～16：30
場　所：滋賀県看護研修センター【集合研修】
参加者：21名（修了証書交付）

4）看護職員認知症対応力向上研修修了者フォローアップ研修
日　時：令和５年２月２日（木）13：30～16：30
場　所：滋賀県看護研修センター【集合研修】
参加者：17名</td></tr>
</table>

９．地域包括ケアシステム推進のための事業（看護ネット推進事業）

1.　事業目的

地域医療構想に沿って地域連携を推進するうえで、保健医療圏域ごとの看護管理者のネットワークづくりの推進が必要であり、そこで、二次保健医療圏域ごとのネットワーク会議・研修会を行う。

2.　事業内容

（１）令和４年度「地域看護ネット」事業推進事業

７医療圏域からの代表者

地区名	代表者	所　属
第１地区支部（大津圏域）	小寺　利美	滋賀医科大学医学部附属病院
第２地区支部（湖南圏域）	西村　寿加代	南草津病院
第３地区支部（甲賀圏域）	與那城　隆幸	水口病院
第４地区支部（東近江圏域）	神　千草子	ヴォーリズ記念病院
第５地区支部（湖東圏域）	大竹　順子	友仁山崎病院
第６地区支部（湖北圏域）	高野　洋子	市立長浜病院
第７地区支部（湖西圏域）	末武　美里	高島市民病院

（２）二次保健医療圏域（7 圏域）ごとの会議および研修会開催回数

地区名	構成員	会議等	研修会等
第１地区支部（大津圏域）	８名	会議７回	１回
第２地区支部（湖南圏域）	６名	会議３回	１回
第３地区支部（甲賀圏域）	５名	コア会議５回	１回
第４地区支部（東近江圏域）	４名	会議１回　コア会議３回	２回
第５地区支部（湖東圏域）	10 名	会議４回	１回
第６地区支部（湖北圏域）	10 名	会議４回　コア会議１回	２回
第７地区支部（湖西圏域）	10 名	会議 10 回	１回

３．事業結果

（１）地域看護ネット報告会について

開催日：令和４年７月１６日（土）9:30～12:00

参加者数：76 名

各支部　地域看護ネットの１年間の取り組み報告

	合計	第１地区	第２地区	第３地区	第４地区	第５地区	第６地区	第７地区
病院	49	10	11	6	7	3	5	7
訪問看護	4		1	1	2			
福祉施設	1		1					
行政	11	3	3	1	1	1	1	1
学校	1						1	
理事等	10	1	6			1	1	1
合計	76	14	22	8	10	5	8	9

（２）二次保健医療圏域（7 圏域）ごとのネットワーク会議および研修会の開催

コロナ禍ではあったが、７医療圏域ごとに会議と研修会を企画し、開催方法を模索しつつ開催することができた。

大津圏域（第１地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	8 月 24 日	市立大津市民病院	会議：昨年度活動報告および今年度の活動目標・目的、活動計画について	7 名
2	9 月 22 日	市立大津市民病院	会議：「在宅医療連携拠点の取組みについて」情報交換、研修会の企画	6 名
3	10 月 26 日	市立大津市民病院	会議：研修会開催に向けて準備（会場の決定、コロナ感染対策、案内文作成など）	8 名
4	11 月 10 日	市立大津市民病院	会議：研修会開催に向けての準備（必要物品、アンケート作成、案内文郵送など）	7 名
5	12 月 13 日	市立大津市民病院	会議：研修会開催に向けての準備（グループ分け、運営など）	7 名
6	1 月 13 日	市立大津市民病院	会議：研修会開催の打ち合わせ（参加者の確認、当日スケジュール、進行の確認など）	7 名
7	1 月 21 日	平野公民館	研修会開催「在宅支援について、それぞれの立場から考える」	44 名
8	2 月 21 日	市立大津市民病院	会議：研修会の振り返り（アンケート結果、次回研修会内容の方向性など）、今年度のまとめおよび次年度の課題について	6 名

湖南圏域（第2地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	9 月 2 日	南草津病院	会議：今年度の活動計画・シンポジウムの企画 地域看護ネットメンバーの再構成と委嘱	6 名
2	10 月 8 日	南草津病院	会議：研修会・シンポジウム企画	14 名
3	12 月 24 日	南草津病院	シンポジウム	40 名
4	2 月 28 日	南草津病院	会議：研修会評価・次年度の課題	12 名

甲賀圏域（第3地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	5 月 10 日	公立甲賀病院	第 1 回コア会議 看護ネットワーク　令和 4 年度事業計画　役員交代	5 名
2	7 月 28 日	甲賀市健康福祉事務所	第 2 回コア会議・第 1 回看護ネットワーク推進会議 コロナ蔓延の長期化が及ぼす健康・療養生活への影響調査、 地域より訪問看護ステーションの事例報告2例と GW	23 名
3	8 月 24 日	甲賀市健康福祉事務所	第3回コア会議 第二回看護ネットワーク推進会議計画　第一回開催アンケートまとめ・地域包括ケア推進フォーラムについて	4 名
4	9 月 9 日	甲賀市健康福祉事務所	第 4 回コア会議　第 2 回看護ネットワーク推進会議 コロナ蔓延の長期化が及ぼす健康・療養生活への影響調査、 介護老人保健施設事例報告　行政より百歳体操の報告、体験	26 名
5	1 月 26 日	甲賀市健康福祉事務所オンライン	令和4年度　甲賀圏域看護ネットワーク推進会議 地域包括ケアフォーラムテーマ「人生の最期に看護職としてどう向き合いますか」 各施設における看取りの実践報告　4施設の発表と意見交換	44 名
6	2 月 17 日	甲賀市健康福祉事務所	第 5 回コア会議地域包括ケアフォーラム振り返り　アンケートまとめ　次年度活動計画　役員の交代について	4 名

東近江圏域（第4地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	8 月 8 日	東近江合同庁舎	コア会議：地域看護ネット会議報告 看護ネット会議開催・地域包括ケアフォーラム内容について	4 名
2	10 月 18 日	東近江保健所	コア会議：看護ネット会議開催に向けて 地域包括ケアフォーラム準備について	7 名
3	11 月 11 日	zoom 会議	認定看護師の活躍の仕組みの運用に向けて 今後の看護職ネットの取り組み・フォーラムの進め方	30 名
4	12 月 10 日	zoom	地域包括ケアフォーラム 東近江圏域における看護看取りの現状・事例発表・GW	65 名
5	12 月 21 日	東近江保健所	コア会議・看護ネット会議：地域フォーラム評価 認定看護師活用についての流れ再検討	6 名
6	2 月 21 日	東近江保健所	圏域における専門・認定看護師活躍の仕組みについて	8 名

湖東圏域 （第 5 地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	7 月 6 日	くすのきセンター	第 1 回湖東圏域看護ネットワーク推進会議 ①代表の変更 ②前年度の事業のまとめと今年度の事業計画 ③「地域看護ネット」報告会について ④湖東地域における組織を超えた看看連携の実態把握から「緊急時対応について」 ⑤新型コロナウイルス感染症の第 6 波における、各機関の取り組み状況と課題について	10 名
2	7 月 16 日	看護研修センター	2021 年度の活動報告及び各地域「看護ネット」活動の課題と今後の方針（グループ討議）	4 名
3	10 月 16 日	くすのきセンター	会議：①「地域看護ネット」報告会の報告 ②新型コロナウイルス感染症の第 7 波における、各機関の取り組み状況と課題について（情報交換） ③第五地区支部 全世代地域包括ケア推進フォーラムの開催について	8 名
4	2 月 4 日	くすのきセンター	全世代型地域包括ケア推進フォーラム開催（看護ネット協賛） （大学・病院院内学級・救急外来・保育園・栄養科・保健所からコロナ禍の現状や課題について報告	17 名
5	2 月 17 日	くすのきセンター	①新たな課題、取り組みについて （若い世代の看護職） ＊地域包括ケアシステムを理解し、支援に繋ぐ取り組み ＊働き続けられる支援について指導者が考え学ぶ取り組み ②認定看護師・専門看護師一覧の更新について ＊「在宅医療福祉情報の森」の内容の更新にあたり、病院以外例）大学教員で認定等資格者も情報として載せていく	7 名

湖北圏域 （第6地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	5 月 20 日	市立長浜病院	コア会議：今年度の活動計画	4 名
2	7 月 15 日	長浜赤十字病院	活動目標の設定①地域の健康課題や看護実践上の課題を共有し、課題解決に向けたとりくみができる ②地域の病院・介護福祉施設・診療所・訪問看護 S・看護基礎教育機関当の現状・課題共有と連携する ③地域の実情に合わせた看護職の確保、定着と看護実践能力の向上のために、地域内の人的資源の育成や活用を推進する。	9 名
3	9 月 16 日	長浜赤十字病院	目標①②③について中間評価	9 名
4	11 月 18 日	長浜赤十字病院	目標②：感染研修会の企画 目標③：県協会研修看護管理研修の企画 専門性の高い看護師を地域で活用するためのシステムづくりと案内冊子の更新	10 名
5	11 月 18 日	長浜赤十字病院	感染対応研修会（ハイブリッド形式） 保健所・病院・介護施設・訪問看護 S・基礎教育の現場から報告と感染管理認定看護師より助言	137 名
6	3 月 17 日	長浜赤十字病院	年度末評価	8 名
7	3 月 17 日	長浜赤十字病院	看護管理者実践報告会	26 名

湖西圏域 （第7地区支部）

	日付	場所	内容	参加人数
1	4 月 13 日	安曇川公民館	・令和3年度の活動報告 ・代表選出について・今年度の役員について	10 名
2	8 月 2 日	高島保健所	・役割分担について（事務局役員） ・昨年度の取り組みと今年度の計画について	4 名
3	8 月 4 日	高島保健所	・看護ネットについて（目的・事業内容など） ・今年度の取り組みについて	10 名
4	9 月 1 日	安曇川公民館	・ニュースレターについて ・アンケートについて（市内の専門看護師などの募集） ・第 7 地区支部・湖西圏域看護ネット合同研修会について	10 名
5	10 月 6 日	安曇川公民館	・第 7 地区支部・湖西圏域看護ネット合同研修会について ・アンケート結果について ・ニュースレターについて	7 名
6	11 月 9 日	安曇川公民館	・第 7 地区支部・湖西圏域看護ネット合同研修会について ・専門性のある看護師講師依頼について ・ニュースレターについて	10 名
7	11 月 12 日	安曇川公民館	・第 7 地区支部・湖西圏域看護ネット合同研修会 「災害対策の取り組み」	55 名
8	12 月 1 日	高島保健所	・第 7 地区支部・湖西圏域看護ネット合同研修会アンケート結果について ・ニュースレターについて	7 名
9	1 月 11 日	安曇川公民館	・ニュースレターについて	9名
10	3 月 2 日	安曇川公民館	・ニュースレターについて ・来年度の役員について	7 名

10. 滋賀県喀痰吸引等（第一号・第二号）にかかる指導看護師養成事業

喀痰吸引等（第一号、第二号研修）指導看護師養成研修

1. 指導者講習

事業目的：施設や居宅において介護職員等による喀痰吸引等がより安全に提供されるよう、適切に喀痰吸引等の行為を行うことができる介護職員等を養成する「喀痰吸引等研修事業（第一号、第二号研修）」にかかる実地研修の指導者（看護師等）を養成する。

講習日程：2コース（2日間）1日目（講義） 2日目（実技演習）

南会場・北会場の2会場で実施

1）日時：令和4年10月3・4日（月・火）　会場：くすのきセンター　受講修了者：8名

2）日時：令和4年10月12・13日（水・木）　会場：ニプロ株式会社 iMEP　受講修了者：19名

2. フォローアップ研修

事業目的：「喀痰吸引等研修（第一号、第二号研修）」にかかる実地研修の指導看護師の指導内容の平準化、適正化をはかる。

対象者：喀痰吸引にかかる指導者看護師講習修了者　10名参加

日時：令和4年12月6日（火）開催

講義：「喀痰吸引・経管栄養等の制度について」「基礎知識の再確認」

演習：喀痰吸引と経管栄養のケア、指導の実施

実践報告：指導看護職の立場から　新山和枝氏　公立甲賀病院訪問看護ステーション

介護職の立場から　生駒美雪氏　甲賀市社会福祉協議会ヘルパーステーションつちやま

講演：「呼吸管理」 講師・山口清香氏　市立長浜病院　慢性呼吸器疾患看護認定看護師

意見交換

3. アドバイス事業

事業目的：指導看護師による介護職への指導の場面での不安や疑問等について、講師が直接施設等へ出向いてアドバイスを行い、指導看護師の支援を行うとともに看護と介護の連携をすすめ、ケアの充実を図る。

結果　＊中止

新型コロナウイルス感染症の感染が収束せず、希望もなく中止とした。

4. 情報提供

各関係機関へコネクタ製品の切替えについて、研修会等の際に情報提供を行った。

看護職の確保定着に関する事業

1. ナースセンターに関する事業

事業目標：看護職員の確保と定着を促進する。
看護職員確保と定着に向けてのナースセンターの取り組み

1　高校生の看護職選択を推進する。
2　看護学生の滋賀県内就職選択を推進する。
3　新人看護職の早期離職防止の支援をする。
4　現職看護職の離職防止と定着支援を推進する。
5　看護管理者へは、看護職の確保・定着と質の向上を推進する。
6　未就業者の看護職復帰を推進する。

1. ナースバンク事業

1）ナースバンク登録及び無料職業紹介と就業に関する相談

開催日	開催場所	内容	実績
月～金 9：00～17：00	看護研修センター	来所相談・電話相談・メール相談に対応 求職登録者：256.9 名／月 求人登録募集人数：594.8 人／月	相談件数：24,425 件 来所相談：　87 件 電話相談：2,917 件 メール ： 19,841 件 その他：1,580 件（郵送等）
月～金 9：00～16：00	彦根サテライト		相談件数：409 件 来所相談：147 件 電話相談：239 件 その他　：23 件 （メール・郵送等）

2）看護師等の届出制度

実　施　期　間	届　出　件　数
令和４年４月～令和５年３月	病院：267 件 訪問看護ステーション：1 件 その他の施設：19 件 個人：65 件　　総合計：352 件

3）未就業者の実態調査並びに離職者調査（異動調査）：併せて退職者に対してナースバンク登録を促す。

毎月１回	看護研修センター	県内の医療機関へ看護職員異動調査の提出を依頼	58 施設

4）看護職員需要調査：看護職員雇用施設の実態を把握し、今後の政策を進める上での基礎資料とする。

令和４年４月～5 月	看護研修センター	県内の医療機関 県内の訪問看護ステーション	58 施設 144 施設

5）再就業コーディネーター配置事業

未就業の看護職に在宅医療を担う看護職を確保するために訪問看護ステーション・介護・福祉施設への就業を支援し促進する事を目的とする。

開催日	相談窓口県内８ケ所	内容	実績
令和４年４月 ～令和５年３月	・ハローワーク長浜 ・ハローワーク東近江 ・ハローワーク大津 ・ハローワーク草津 ・ハローワーク甲賀 ・ハローワーク高島 ・マザーズジョブステーション Ｇ－ネットしが近江八幡 ・マザーズジョブステーション 草津駅前	・就業相談、希望就職先の見学調整、面接調整、施設情報収集と説明 ・求人相談 ・進学相談 ・再就業支援講習会、就職説明会、就職面接会等のイベント紹介説明 ・心のサポート連携 ・その他	相談窓口開設件数 155 回 相談件数：152 件 相談者数：120 名 相談員： コーディネーター1 名 支援員６名

2. 看護の心普及事業

1）高校生１日看護体験・進学説明会

高齢社会が進む中で、看護職員の需要はますます増大し、看護職の確保が急務である。そこで県内の高校生が「看護」の理解を深め看護職への進路選択の一助とするために、医療施設において「1 日看護体験」を行う。

また、高校生等に看護の魅力を伝え職業選択の一助とするため、進学説明会を行う。

開催日	開催場所	内容	実績
令和４年７月 27 日 ～ 令和４年７月 29 日	県内医療機関 22 施設	・看護職「保・助・看」についての説明 ・病院概要説明 ・看護学校進学についての説明 ・看護業務の見学および体験	参加高校：46 校 参加生徒数：196 名
令和４年８月９日	看護研修センター	・看護職および看護学生の話 ・看護職より「看護の魅力」について ・看護系大学および専門学校生より「学校生活」について ・看護大学･専門学校の教員より「大学･専門学校で学ぶとは」について ・各ブースでの個別相談	参加高校：15 校 参 加 者：36 名 保護者・教員含む

2）看護の魅力配達事業

開催期間	参加学校名	実積
令和４年６月～ 令和５年２月	光泉カトリック高校、草津東高校、草津高校、玉川高校、国際情報高校、北大津高校、安曇川高校、石部高校、八幡商業高校、大津高校、彦根東高校、堅田高校、守山北高校、長浜北高校、彦根翔西館高校、大津商業高校、高島高校、水口高校、米原高校、八日市高校、八幡高、大津高校、伊吹高校、彦根総合高校、八日市高校、河瀬高校、愛知高校 ＊青山中学校、老上中学校、野洲北中学校、松原中学校	参加校数：延べ 32 校 参加人数:学生683 人 ・高校生数 496 人 ・中学生数 187 人 ・進路指導教諭 59 人 講師延べ　48 名

3. 看護職員確保定着促進事業

1）就職説明会および面接会

現在、看護業務についていない看護職有資格者及び看護補助者を目指す無資格者に対し、求人を行う医療機関・訪問看護ステーション・介護福祉施設を一同に集め就職説明会を実施し、職場復帰を推進する。

開催日	開催場所	内容	実績
説明会（南部） 令和４年７月 27 日	滋賀県看護研修センター （草津市）	今年度卒業見込みの学生及び看護職有資格者及び無資格者で看護補助者の就職希望者を対象とした個別説明会および面接会 （昨年度に続き、新型コロナウイルス感染対策を継続し開催）	参 加 者 ：17 名 参加施設 ：52 施設
説明会（北部） 令和４年８月 18 日	滋賀県立文化産業交流会館 （米原市）		参 加 者 ：11 名 参加施設 ：37 施設
面接会 令和５年２月 22 日	クサツエストピアホテル （草津市）		参 加 者 ：71 名 参加施設 ：68 施設

2）県内就職のための看護学生就業ガイダンス・交流会

県内看護学生を対象に看護職のキャリアを考え、今後の県内での就業先や職種の選択の一助とする。

開催日	開催場所	内容	実績
令和４年 ８月 ５日	看護研修センター	・会長メッセージ ・多様な職場や職種で働く先輩看護師の体験談聴講 ・シンポジウム形式で実施 ・先輩を交えて質疑応答・情報交換	県内看護学生、希望者 参加者：６名 シンポジスト６名

3）現任看護職の定着化と活性化

(1)新人看護職員交流会

開催日	開催場所	内容	実績
令和４年 ６月 7･13･14 日 15･17 日 (5 日間に分け開催)	看護研修センター	・会長メッセージ・グループ内で自己紹介 ・滋賀県ナースセンター紹介 ・ワールドカフェについて説明 ・グループワーク「ワールドカフェ方式４ラウンド」 テーマ「就職してから今日までの頑張りや楽しさなどを皆で共有し、明日からの取り組みをみつけよう」	参加者：580 名 医療機関 46 施設 訪問看護２か所 から参加

(2)看護職員リフレッシュ研修会

就業３年目の看護職員が、心身をリフレッシュし自己啓発の意欲を持つことにより、離職を防止する。

開催日	開催場所	内容	実績
令和４年 11 月　11 日 11 月　24 日 12 月　２日 (3 日間に分け開催)	看護研修センター	・松波常務メッセージ ・講義『 ナラティブ・看護体験を語る』 ・先輩看護師の話を聴講 ・グループワーク ① 看護実践を語る ② これからの自分を考える	受講者：388 名 医療機関：42 施設 から参加

4. 看護職員(看護学生含む)等精神サポート事業

看護職員、看護学生の抱える精神的な課題に対処し、看護職員が安心して働く事ができる環境の調整により離職防止を図り、看護学生が学生生活をより安定して過ごすことができることを目的とする。

1)運営調整会議

開催日	開催場所	内容	実績
令和4年4月 13日	看護研修センター	事業の趣旨と概要について、運営計画・会議予定について、広報・ここさぽ通信について	10名出席
令和4年10月12日	看護研修センター	前半運営状況・広報実績と後半の運営について	7名出席
令和5年3月　8日	看護研修センター	今年度事業運営状況について、次年度事業の方向性について、PRについて	7名出席

2)カウンセラー相談実績（看護職員・学生）

開催日	開催場所	内容	実績
令和4年4月～令和5年3月	看護研修センター	看護職員・看護学生の心の相談カウンセリング 相談員：4名(精神看護専門看護師3名・看護管理者経験、看護教員経験者1名)	相談回数 17回 相談 15件
	彦根サテライト		相談回数 5回 相談 1件

3)広報による啓発

事業案内・チラシ・ポスター・カードの作成・配布・掲示・ホームページ掲載	5月	郵送先：県内病院・訪問看護事業所・介護福祉施設・看護師養成所・市町・福祉事務所、等に配布、 設置：看護研修センター内・各研修時・他
ここさぽ通信の作成・配布・掲示	8月・1月	郵送先：上記同様
ここさぽJ通信の作成・配布・掲載	10月	郵送先：県内看護専門学校・看護系大学

5. 潜在看護職員掘り起し職場復帰支援事業

1)在宅医療福祉を担うリスタートナースサポート研修

有資格者で訪問看護ステーション、介護・福祉施設および医療療養型施設への再就業を希望する潜在看護職員を対象として、円滑な職場復帰を支援することを目的とする。

講座型：講義・演習および実習

開催日	開催場所	内容	実績
令和4年5月20日～7月5日	看護研修センター（6日） 医療研修施設(ニプロ IMEP：1日)	・看護の動向と看護職の役割・医療安全 ・訪問看護概論、地域連携・認知症の看護 ・介護施設の特徴と看護の役割、実践 ・褥瘡ケア・摂食嚥下の看護・看護技術 ・薬剤の知識　・リハビリテーション ・看取り・感染管理（新型コロナウイルス感染症の基礎知識）・緊急時対応	受講者40名 内就業者32名(80.0%)
令和4年9月 2日～10月21日	彦根くすのきセンター（6日） 医療研修施設(ニプロ IMEP：1日)		
令和5年1月13日～3月2日	看護研修センター67日) 医療研修施設(ニプロ IMEP：1日)		
講義、演習終了後に各自希望施設での実習（医療機関:2日・訪問看護または介護施設:3日）→新型コロナ感染防止で短日となることあり			
派遣型：実習	滋賀県立総合病院、Nアート訪問看護ステーション、訪問看護ステーションさと水口 大津市民病院訪問看護ステーション、済生会訪問看護ステーション、よつば訪問看護ステーション、訪問看護ステーションなかさと、みどりやデイサービス仰木の里、JAゆうハートほとはらディサービス、済生会守山市民病院、琵琶湖大橋病院訪問看護ステーションふれんず、訪問看護ステーションさら、特別養護老人ホーム千松の郷、日野記念病院、訪問看護ステーションヴィーナス24、、訪問看護ステーションあいむ、デイサービスセンターみずうみ、南草津病院、草津徳洲会病院、滋賀医科大学附属病院、草津市訪問看護ステーション、多機能型重症児デイサービスふぁみりぃ、淡海ふれあい病院		実習27名 協力24施設

6. サポートナースプロジェクト事業

滋賀県内のサポートナースへ登録された潜在看護職（看護師・保健師・助産師・准看護師）に対して、新型コロナウイル感染症看護の必要とされる場所に迅速に看護職を派遣できるように、県内の人材を確保することを目的とする。また登録者が安心して従事できるように研修会を開催する。

1）スキルアップ研修（日本看護協会委託事業―新型コロナ感染症対応看護職員潜在看護師事業）

開催日	開催場所	内容	実績
【1回目】 5/26.27.6/1 【2回目】 9/8.13.16 【3回目】 1/18.26.27	看護研修センター ニプロｉＭＥＰ	新型コロナウイルス感染症対応の業務に従事できるよう、基礎知識・検査・治療・看護知識・技術に関する研修	参加者数 1回目13名 2回目2名 3回目3名

2）有事協力者研修

開催日	開催場所	内容	実績
【1回目】 11/22 【2回目】 2/25	看護研修センター	イベント・災害時に必要な看護～一次処置・救命について～	参加者数 1回目21名 2回目16名

7. 看護補助者研修会

看護職のタスクシフト/シェアが進む中、医療機関において、益々看護補助者の確保・定着が課題となっている。新たに採用された看護補助者が看護チームの一員として定着し、やりがいを持ち働き続けられるように、看護補助者の役割や責任、医療安全について学ぶ。

開催日	開催場所	実施内容	実績
【1回目】 7月14日 【2回目】 1月31日	看護研修センター	研修内容 ・看護チームの中で看護補助者の役割と責任を理解する ・看護補助者に必要な医療安全の知識	参加者数 1回目42名 2回目57名

8 ナースセンター運営に関する会議

ナースセンター運営委員会：看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づき、滋賀県ナースセンター事業運営委員会を設置し、ナースセンターの円滑な運営に資する。

開催日	開催場所	内容・実績	実績
令和4年8月22日 14:00～16:00	看護研修センター	・令和3年度滋賀県ナースセンター関連事業実績について ・令和4年度滋賀県ナースセンター関連事業進捗状況 ・令和4度都道府県ナースセンター事業担当者会議（WEB会議）について（報告と意見交換） ・ナースセンター事業全般について	運営委員9名 県担当者1名 ナースセンター職員4名

＊ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議も同日開催

9. 中央ナースセンターとの連携・各都道府県との連携

ナースセンター事業担当者会議：中央ナースセンターとの連携を図り潜在看護職員等に関する情報交換を行う。

開催日	開催場所	内容	参加人数
令和4年5月19日	看護研修センター	都道府県看護協会　看護労働担当者会議(Web開催) ・看護職の労働環境改善に向けた日本看護協会の事業 ・就業継続が可能な看護職の働き方提案 ・就業継続が可能な看護職の働き方の提案を推進するための事業展開・取り組みについてグループワーク	2名参加
令和4年5月20日	看護研修センター	ナースセンター事業担当者会議(Web開催) ・看護職員確保対策の今後の展望 ・2022年度ナースセンターの事業について ・グループワーク①「地域に必要な看護職の確保の推進」のための具体的な方策について ②「看護職一人ひとりのキャリアに応じた就業継続・復職支援の充実」	3名参加 県1名参加 ナースセンター職員で共有
令和4年11月2日	看護研修センター	キャリアコンサルティング研修：基礎力強化(Web開催) ・キャリアコンサルティングの意義 ・カウンセリング理論 ・キャリアコンサルティングに必要な技能 ・キャリアコンサルティングの実践 ・ロールプレイ・事例検討	2名参加
令和4年12月 13.20.21日	看護研修センター	キャリアコンサルティング研修：対応力強化(Web開催) ・キャリアコンサルティングの社会的意義 ・カウンセリング倫理と行動 ・キャリアコンサルティングの理論 ・キャリアコンサルティングに関する関連法令 ・事例検討・ロールプレイ（3事例）	2名参加
令和5年2月1日	看護研修センター	地域に必要な看護職員確保推進事業報告・説明会 (Web開催)	3名参加
令和5年2月15日	看護研修センター	近畿地区看護協会人材確保･定着担当者会議（Web開催）	3名参加 県庁1名

10. ワーク・ライフ・バランス推進研修事業

看護職が安心して働き続けられる職場環境づくりとワーク・ライフ・バランスの取り組みを進めるために研修会を開催し支援する。

1) ワーク・ライフ・バランス研修会の開催

開催日	開催場所	内容	参加人数
令和4年10月13日	看護研修センター	講演：テーマ「看護管理者が生き生きと働き続けられるために」 講師：公益社団法人京都府看護協会 会長 豊田　久美子氏 グループワーク ・「研修から得た学びを今後にどう生かすか」	48名参加 44施設 病院･訪問看護･介護施設の看護管理者等
令和4年12月15日	看護研修センター	プラチナナース研修会 講演：テーマ「私と年金」～自分の年金を知ろう～ 大川社労士による講演 ① プラチナナースとして（病院・訪問看護）としてセカンドキャリアで働く人の話	26名参加 17施設 40歳以上の看護職･定年前後の看護職

令和5年2月16日	看護研修センター	講演：テーマ「看護管理者が知っておくべき労務管理に必要な法律」 講師：パール社会保険労務士代表　板谷　喜一氏 ・新たな法改正 ・労働時間の適正な管理、時間外労働の上限規制 ・育児・介護休業法の改正、育児休業時の賃金補填の仕組み、介護休業について ・有給休暇取得義務について、年5日の消化進捗管理 ・パワーハラスメント防止法、より良い職場環境	60名参加 24施設 病院･訪問看護･介護施設の看護管理者等